

## Ⅷ 文化財保護

### 1. 有形文化財

#### (1) 建造物

##### ①重文 津嘉山酒造所施設主屋及び廻屋 建造物保存修理 事業

事業種別 : 国庫補助事業  
 事業主体 : 合資会社 津嘉山酒造所  
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。  
 事業内容 : 平成23年度に事業を開始した。平成27年度に引き続き経年と蟻害よる木部腐朽が著しい、主屋兼工場の保存修理を行った。  
 事業費総額 : 120,000千円

	平成28年度実績額	平成23年度～平成28年度総事業費
所有者負担	6,000千円	19,320千円
市補助額	6,000千円	19,319千円
県補助額	12,000千円	38,639千円
国庫補助額	96,000千円	309,112千円
合計	120,000千円	386,390千円

##### ②重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 建造物防災施設等事業

事業種別 : 国庫補助事業  
 事業主体 : 新垣和子ほか5名  
 事業の目的 : 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。  
 事業内容 : 防災施設の新設工事を行った。  
 事業費総額 : 8,346千円

	平成28年度実績額	平成24年度～平成28年度総事業費
所有者負担	0千円	8千円
市補助額	836千円	2,174千円
県補助額	834千円	2,170千円
国庫補助額	6,676千円	17,368千円
合計	8,346千円	21,720千円

##### ③重文 上江洲家住宅 防災施設等事業

事業種別 : 国庫補助事業  
 事業主体 : 上江洲 智一  
 事業の目的 : 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。  
 事業内容 : 経年による老朽化の著しい防災施設の改修工事を行った。  
 事業費総額 : 6,781千円

	平成28年度実績額	平成27年度～平成28年度総事業費
所有者負担	346千円	595千円
町補助額	339千円	588千円
県補助額	677千円	1,171千円
国庫補助額	5,419千円	9,380千円
合計	6,781千円	11,734千円

##### ④重伝建 渡名喜村渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業  
 事業主体 : 渡名喜村  
 事業の目的 : 伝統的建造物群の適正な保存を図る。  
 事業内容 : 下記保存物件の保存修理修景事業  
 比嘉家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁の修理工事を実施した。  
 仲村渠家保存計画に基づく、付属舎の新築工事を実施した。  
 事業費総額 : 8,631千円

	平成28年度実績額	平成12年度～平成28年度
村負担額	950千円	40,921千円
県補助額	776千円	34,686千円
国庫補助額	6,905千円	363,523千円
合計	8,631千円	439,130千円

⑤重伝建 竹富町竹富島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：竹富町  
 事業の目的：伝統的建造物群の適正な保存を図る。  
 事業内容：下記保存物件の保存修理事業  
 大山家住宅主屋の経年による雨漏りについて、屋根改修及び葺き替え工事を行った。

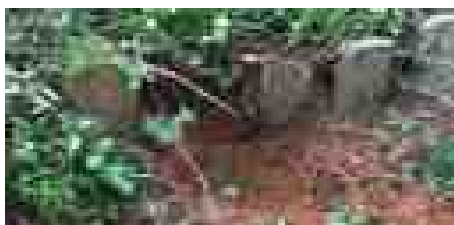
事業費総額：5,785千円

	平成28年度	昭和62年度～平成28年度
町負担額	638千円	52,597千円
県補助額	519千円	44,221千円
国庫補助額	4,628千円	374,028千円
合計	5,785千円	470,846千円

(2)美術工芸

①在外沖縄関連文化財調査

事業総額：1,543千円  
 事業種別：県単独事業  
 事業主体：沖縄県  
 調査期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日  
 調査目的：琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。  
 事業概要：平成28年8月22日から8月27日の期間、在外文化財調査のため中国福建省福州市福建師範大学附属図書館で琉球人墓碑かかる文献資料の調査を行った。また、国立故宮博物院南部院区 - アジア芸術文化博物館で琉球関係資料の簡易調査を行った。また、3月には4年にわたる調査事業をまとめた『在外沖縄関連文化財調査報告書-福建省琉球人墓碑編-』を刊行した。  
 調査員：前田舟子（沖縄大学 日本学術振興会特別研究員PD）  
 事務局：平川信幸（文化財課 主任専門員）



高蓋山公園の琉球人墓

②琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,025千円（国17,600千円、県986千円、市3,439千円）  
 事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：那覇市  
 修復期間：平成28年5月13日～平成29年3月24日  
 修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。  
 事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類38冊の修理もおこなった。  
 実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

### ③喜舎場永珣資料 史料調査事業

事業総額：2,500千円（国2,000千円、県145千円、市355千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：石垣市

事業期間：平成28年6月1日～平成29年3月31日

事業目的：喜舎場永珣氏が収集保管していた古文書類と、同氏が遺した調査ノート、調査メモ等の整理と調査を行い、郷土の歴史・文化の研究に資することを目的に実施する。

事業概要：平成24年に、喜舎場永珣氏が収集した古文書類や新聞資料、調録音テープ等が石垣市立八重山博物館に寄贈された。本事業では、古文書類の整理、目録作成と、調査ノート・メモ、レコード、録音テープに整理、分類を行うとともに、内容分析等の調査を行う。また、必要に応じ、デジタル化し記録の保存を図る。

実施体制：事業着手後、「喜舎場永珣資料調査会」（仮称）を開催した。調査会は、年に2回開催し、今年度事業の調査方針や調査方法、調査内容の助言を行った。事業完了前の調査会では、今年度事業の総括と次年度以降の調査方針や計画について審議し、次年度報告書作成に向けた作業に反映させる。

「喜舎場永珣資料調査会」の委員は、地元在住の有識者と県内大学の教授等で構成した。委員は、年2回の調査会で、調査方針、方法、内容等を審議し調査への指導助言を行った。また、地元有識者の委員からは、調査をすすめていくなかで、適宜、指導助言を仰いだ。

八重山博物館学芸員が調査員となり、非常勤職員を調査補助としておいた。調査は、調査員と調査補助員で行うものとし、適宜、調査委員の指導助言を仰いだ。

### (3)銃砲刀剣類の登録

#### ①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

\*沖縄県教育委員会委嘱(平成28年9月12日から平成30年9月11日)

大嶺 信義 (刀剣研究家)

上原 正人 (刀剣研究家)

兼濱 清周 (刀工)

#### ②登録審査会

日 時:平成29年3月6日(月)14:00~17:00

場 所:沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室・研究室

審査件数:4件(内訳:たち1、刀2、わきざし1)

登録証交付件数:0件

登録証再交付申請:3件(内訳:刀3)

#### ③登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	1	1	
	刀	5	5	
	わきざし	1	1	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		7	7	

#### ④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	4	6,300円/件	25,200円	
審査手数料(再 交 付)	3	3,500円/件	10,500円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計			35,700円	

#### ⑤登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	7	7
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
( 発見届 )	(0)	(0)	(0)
合 計	0	7	7

## 2. 無形文化財

### (1) 芸 能 (伝承者養成事業)

#### ①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,379千円（国7,000千円、県130千円、保存会249千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「かせかけ」と二才踊「下り口説」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表した。発表と、顧問の講話を開催。

琉球舞踊の古典舞踊七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記の通り。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝  
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子  
③親泊興照：二代目親泊興照  
④宮城能造：宮城能鳳  
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子  
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉清子：大城政子  
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記の通り。

新垣松含 ⑨比嘉澄子  
渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子  
読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間明美  
川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子  
屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝  
※ 宮城能造：二代目宮城能造  
田代タカ子 宮城美能留：宮城早苗・園美

イ 研修方法

古典舞踊については、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8つ（上記の①～⑧）のグループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5つ（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

あわせて、演目についての講話を実施する。

a 「琉球舞踊について」平成28年5月21日 大城 學

b 「かせかけと下り口説の詞章について」平成29年1月8日 波照間永吉

平成26年度より実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約80名）と、一般研修生（約400名）にわかれる。

選抜研修生には9月の実技研修、及び1月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、2月の全員研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 演目

平成28年度は、古典舞踊「かせかけ」、雑踊「下り口説」

エ 研修回数

平成28年度は以下の7回の研修を行う。

a 開講式（5月21日） ※ 全員参加

b 選抜研修（9月18・19日） ※ 選抜者対象

c 成果発表会及び講話（平成29年1月7日・8日）および講話

※ 出演は選抜者（出席は全員対象）

d 実技発表会（平成29年2月11日・12日）

※ 全伝承者対象（選抜者を除く）

選抜者は2回（9月18日・19日）の研修を行い、その成果を踏まえて2回の成果発表公演（平成29年1月7日・8日）を実施する。

※ 衣装、化粧、道具等についても師からの教を再現する。

※ 研修成果発表会は一般観客にも披露する。

#### オ 研修報告

##### a 開講式（伝承者全員を対象とした開講式及び講話）

講話は研究者・大城學「琉球舞踊について」。琉球舞踊について概略的な講義を行った。来賓には沖縄県文化財課課長・萩尾俊章氏、及び当会顧問・儀保榮治郎氏を招いて、一人ずつ激励の言葉をいただいた。

##### b 選抜研修（平成28年度の選抜社80名を対象と研修）

全体を14グループにわけ、グループごとによえう演舞を行う（うち2グループは辞退）。選抜研修に選ばれると、最低1ヶ月に1回、各自にて稽古を行う（稽古の様子は稽古表を提出）。そのうち、この9月の選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。

##### c 成果発表会

9月の選抜研修をへて、集大成となる成果発表会を行う。舞踊は衣裳・拵えを行い、地謡は黒潮を着用（雑踊ではハチマチをはずす）。

2日目には有識者による講話を行う。顧問・波照間永吉氏による「かせかけと下り口調お詞章について」。本年度の課題曲について、文法的な観点から解説を行った。

本成果発表会は、全伝承者が出席して鑑賞するとともに、ひろく一般にも公開し、琉球舞踊の普及につとめる。また本年度初の試みとして、前日にリハーサルを行った。

—出演者名簿（1日目：①～⑨グループ 2日目：⑩～⑭グループ）—

##### ① グループ

舞 踊：（真踊流）金城洋子・眞境名由佳子・我那覇明子・仲本のり子

歌三線：（野村流保存会①）勝連繁雄・池原憲彦・神谷乗成

箏：（保存会）末吉弘子 笛：仲田治巳 胡弓：当真嗣友 太鼓：横目大通

##### ② グループ

舞 踊：（島袋本流紫の会）前里博美・具志典子

歌三線：（野村流保存会②）山城暁・宮原弘和・田港朝弘・宮城赳

箏：（保存会）松永敬子 笛：真地利尚 胡弓：森田夏子 太鼓：横目大通

##### ③ グループ

舞 踊：（玉城流扇寿会）大城直江・金城奈津子・長山真由美

歌三線：（安富祖流絃聲会①）嶺井政仁・照喜名智・金城力・国仲貴光

箏：（興陽会）知念佐代子 笛：清村まり子 胡弓：川平賀道

太鼓：横目大通

##### ④ グループ

舞 踊：（玉城流玉扇会）大田礼子・當山真澄・東文子・東江裕吉、

（玉城流七扇会）大城常政

歌三線：（安富祖流絃聲会②）糸数一雄・花城吉治・勝連達也・平田邦夫

箏：（興陽会）久手堅直子 笛：宇保朝輝 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：横目大通

##### ※⑤ グループ（辞退につき、グループなし）

##### ⑥ グループ

舞 踊：（大城流寿乃会）城間千恵美・徳元美幸

歌三線：（野村流保存会②）山城暁・宮原弘和・田港朝弘・宮城赳

箏：（保存会）松永敬子 笛：真地利尚 胡弓：森田夏子 太鼓：横目大通

##### ⑦ グループ

舞 踊：（玉城流翔節会）我如古磨佐子・瑞慶山和子・當真良子

（玉城流いずみ会）玉城侑香李

歌三線：（安富祖流絃聲会①）嶺井政仁・照喜名智・金城力・国仲貴光

箏：（興陽会）知念佐代子 笛：清村まり子 胡弓：川平賀道 太鼓：横目大通

##### ⑧ グループ

舞 踊：（宮城本流鳳乃會）宮城能香・宮城能乃

歌三線：（安富祖流絃聲会②）糸数一雄・花城吉治・勝連達也・平田邦夫

箏：（興陽会）久手堅直子 笛：宇保朝輝 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：横目大通

##### ⑨ グループ

舞 踊：（親泊本流親扇会）新城園美・永吉麻衣子

歌三線：（野村流音楽協会②）仲順利治・新里好清・前川元・宮城勝秀

箏：（興陽会）神谷淳子 笛：知念久光 胡弓：森田夏子 太鼓：横目大通

##### ※⑩ グループ（辞退につき、グループなし）

##### ⑪ グループ

舞 踊：（琉舞無憂華の会）石川詩子、（玉城流七扇敏風会）島袋ゆかり、

（柳清本流和華の会）永山玲緒奈

歌三線：(野村流松村統絃会) 宮城竹茂・赤嶺武志・上地政春・与那嶺豊  
箏：(保存会) 平良マサエ 笛：照屋正 胡弓：宇江城栄 太鼓：兼島順子

⑫ グループ

舞踊：(宗家眞境名本流) 仲真あけみ  
歌三線：(野村流音楽協会①) 内間悦子・儀保明美・長嶺ルーシー  
箏：(興陽会) 島袋道子 笛：照屋正 胡弓：祖堅信義 太鼓：兼島順子

⑬ グループ

舞踊：(安座間本流) 大湾三瑠、(島袋流千尋会) 島袋光尋、  
(宮城流) 宮城茂雄、(世舞会) 佐辺良和  
歌三線：(野村流音楽協会①) 内間悦子・儀保明美・長嶺ルーシー  
箏：(興陽会) 島袋道子 笛：照屋正 胡弓：祖堅信義 太鼓：兼島順子

⑭ グループ

舞踊：(朱日流) 知花小百合、(宮城流豊舞会) 宮城小寿江  
歌三線：(野村流松村統絃会) 宮城竹茂・赤嶺武志・上地政春・与那嶺豊  
箏：(保存会) 平良マサエ 笛：照屋正 胡弓：宇江城栄 太鼓：兼島順子

d 技能発表会(平成28年度の選抜者以外約400名)を対象とした研修

全体を22グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。

②選定保存技術「結髪(沖縄伝統芸能)」伝承者養成事業

事業総額：1,180千円(国1,106千円、県59千円、保持者15千円)

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀(雅号 小波則夫)

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

場所：自宅工房

事業内容：結髪(沖縄伝統芸能)は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

これまで、組踊に汎用される髪型を習得させてきたが、今期は、創作結髪を習得させた。なかでも、「大カムロ」は、百十踏場(ももとふみあがり)の髪型として、1970年代に宮城美能留氏(物故者)の提案と小波の創作結髪により生み出されたものであり、その他の演目にもアレンジ性の高い髪型として有効である。

百十踏場は十五世紀、第一尚氏、尚泰久の王女として誕生し、勝連按司、阿麻和利の妃になった人物といわれている。現在、この「大カムロ」は史劇やオペラなどで使われることも多い。したがって、舞台芸術に必要な髪型を教授した。

概要：1 結髪伝承者養成事業として、2名の伝承者者に対し、25日間の研修を実施した。  
2 結髪技術普及のためのリーフレット、並び結髪の技術伝承のための教則ビデオを作成した。

3 結髪技術伝承のための教則のためのDVDを作成した。

作業内容：1 結い上げ用ヘッドを使用し、創作(大カムロ)の櫛さばき、水油(椿油)、固形油、チックの使い方を習得させる。(4月)

2 大カムロの頭頂部の唐輪の分量、鬢(総角：みずら)の分量、位置決めを習得させる。(5・6・7月)

3 顔立ち、体型の違いによる唐輪の高さ、鬢(総角：みずら)の長さの違いを熟知し、バランスを習得させる。(8・9月)

4 チックを使い頭頂部の唐輪、鬢(総角：みずら)の整形を習得させる。(10・11・12月)

5 前簪、結び飾り、鬢(総角：みずら)飾り等の付け方、顔立ちの違いによる調整を習得させる。

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,213千円(国7,000千円、県93千円、保存会120千円)

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

技術者：金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子

伝承者：宮城優子 金城小百合 新垣克 城間貞光 江洲のぶ子

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

場所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

- 1 技術者の4名で、伝承者の5名を指導し、合計454回の研修を行い、組踊道具の製作を実施する。
- 2 県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

#### ④重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：9,273千円（国7,962千円、県185千円、保存会1,126千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業（会長：眞境名正憲）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施することにより技芸のさらなる向上を図り、保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

基本方針：1 実技指導は、伝統組踊保存会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。

2 立方・地謡に色々な役割を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。

3 伝承者は、若手と中堅、さらには国立劇場おきなわ組踊研修修了生を持って編成する。（今年度、立方31名、地謡35名）

4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。

5 座学講座、実技研修の成果確認は舞台発表を実施して行う。

内 容：1 実技研修演目は、朝薫五番、「手水の縁」「万歳敵討」「花売り縁」とする。

2 前期・後期、各15回の研修を実施し、成果発表会を実施した。

3 座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。前期・後期、各5回の講座を実施する。

4 実技研修発表会・・・前期：平成28年9月4日「護佐丸敵討」

後期：平成29年2月26日「孝行之巻」

#### ⑤県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,159千円（県648千円、保存会511千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：吉田妙子）

事業内容：歌劇現代明朗歌劇「義理の兄弟」、歌劇名作歌劇「伊江島ハンドー小」を、技能保持者指導のもと、15名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：平成28年12月29日（木）～平成29年2月23日（木）

研修：平成29年1月29日（日）～平成29年2月23日（木）

発表会：平成29年2月23日（木） 18:30（開演）

場所：うるま市民芸術劇場 燈ホール

研修期間：14日（研修発表会も含む）

指導者：泉賀寿子 伊良波冴子 久高将吉 平良進 瀬名波孝子 仲宗根盛次 中曾根律子  
真榮田文子 宮良良子 吉田妙子 与座朝惟 与座ともつね 与座喜美子

研修者：赤嶺啓子 安次嶺正美 糸数きよし 上原信次 叶都美恋 嘉陽田朝裕 具志清健  
祖堅しのぶ 高宮城実人 立花愛希 知名剛史 知念亜希 知念勝二 天願雄一  
当銘由亮

#### ⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：照屋勝義）

事業内容：伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行い、研修発表会を実施した。

事業期間：平成28年9月11日～平成29年3月23日

(1) 研修会

ア 開催日：平成28年9月13日（火）

場 所：国立劇場おきなわ

参加人数：145人

研修内容：琉球古典音楽に関する講話（発声法：講師 泉恵徳 氏）

演奏：長ちゃんな節、伊集早作田節、長伊平屋節、東江節、本調子仲風節

イ 開催日：平成28年11月27日（日）

場 所：国立劇場おきなわ

参加人数：118人

研修内容：演奏実技及び歌詞研究：仲節、十七八節、今風節、石ん根の道節

(2) 保持者公演

開催日：平成29年1月21日（土）

参加人数：300人



発表内容：保持者・伝承者斉唱、保持者独唱、舞踊  
 指導者：玉城政文 照屋勝義 諸見川和男 中村一雄

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

- 事業総額：303千円（県100千円、保存会203千円）  
 実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）  
 事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会を実施した。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。  
 事業期間：平成28年4月28日～平成29年3月31日  
 （伝承者研修会 第4日曜日 10:00～12:00 又は 13:00～15:00）
- (1) 特別講演会（保持者・伝承者研修）：  
 日 時：平成28年8月28日（日）11:00～12:00  
 講師：大城學 氏  
 講話内容：「琉歌をうたう琉球古典音楽」  
 場 所：浦添市産業支援センター
- (2) 研究会・研修会  
 ア 保持者研究会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00  
 テーマ 伝統音楽安富祖流の研究  
 イ 伝承者研修会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00  
 テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

回数	開催日	内容・研修場所	備考
1	5月22日	定例研修会（真玉橋公民館） 二揚5曲 「十七八節」「昔蝶節」「作田節」「暁節」	研修指導 保持者
2	6月28日	定例研修会（国立劇場おきなわ中稽古室） 二揚5曲 「十七八節」「昔蝶節」「作田節」「暁節」	研修指導 保持者
3	7月24日	定例研修会（真玉橋公民館） 「伊野波節」「稲まづん節」	研修指導 保持者
4	8月28日	定例研修会（浦添市産業支援センター結の街） 「伊野波節」「稲まづん節」	研修指導 保持者
		特別公演会（浦添市産業支援センター結の街） 講師 大城 學 氏 演題 「琉歌をうたう琉球古典音楽」	
5	9月25日	定例研修会（真玉橋公民館） 「茶屋節」「すき節」 「今風節」「本散山節」「仲真節」「仲村渠節」	研修指導 保持者
6	10月23日	定例研修会（真玉橋公民館） 「茶屋節」「すき節」 「ちゃんな節」「大兼久節」「本調子仲風節」	研修指導 保持者
7	11月27日	定例研修会（真玉橋公民館） 「茶屋節」「すき節」 「首里節」「仲順節」「本調子述懐節」	研修指導 保持者
8	12月25日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 「茶屋節」「すき節」 「十七八節」「本花風節」「作田節」「干瀬節」	研修指導 保持者
9	平成29年	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 「茶屋節」「すき節」	研修指導
	1月22日	「十七八節」「本花風節」「作田節」「干瀬節」	保持者
10	2月26日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 「茶屋節」「すき節」 「十七八節」「本花風節」「作田節」「干瀬節」	研修指導 保持者
11	3月26日	定例研修会（国立劇場おきなわ大稽古室） 「大昔節」とチラシ	研修指導 保持者

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

- 事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）  
 実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：赤嶺弘子）  
 事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会（3回）、並びに実演家による講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。  
 事業期間：平成28年6月1日～平成29年3月31日
- (1) 研修会：第1回 平成28年6月11日（土） 105名参加  
 第2回 平成28年10月8日（土） 97名参加  
 第3回 平成29年3月19日（土） 82名参加  
 場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

- 指導者：赤嶺弘子 山内好子 山田和子 仲宗根巴津美 山内照子  
 (2) 講演会  
 日時：平成28年10月8日(土)  
 場所：国立劇場おきなわ 大稽古室  
 講師：仲嶺 貞夫 氏  
 演題：「琉球古典箏曲の『記録作成』について」

## (2) 芸 能 (組踊等普及啓発事業)

### ①組踊特別鑑賞会(全国公演)・・・国庫補助事業

事業総額：24,876千円(国22,799千円、県452千円、保存会1,625千円)

趣 旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図る。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国5カ所で公開した。

事業主体：一般社団法人伝統組踊保存会

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を比嘉均及び山内久江(県教育庁文化財課指導主事)が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

- 1 青森県八戸市「八戸市公会堂大ホール」平成28年7月16日(土)午後2時開演  
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 八戸市 八戸市公会堂  
 共催／八戸市教育委員会 後援／青森県教育委員会  
 第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・海勢頭あける  
           「若衆こてい節」天願雄一・佐喜眞一輝  
           「下り口説」川満香多 「天川」田口博章  
 第2部：組踊「万歳敵討」 立方責任者(海勢頭あける)・地謡責任者(山城暁)  
 配役：謝名の子(平田智之) 慶雲(石川直也) 高平良御鎖(川満香多)  
       高平良の妻(海勢頭あける) 高平良の娘(田口博章) 列女1(名嘉正光)  
       列女2(大城常政) 供1・きゃうちゃこ持(佐喜眞一輝)  
       供2(安次嶺浩和) 道行人(天願雄一)  
 地謡：歌・三線(山城暁、比嘉康春、田港朝弘、仲村逸夫)  
       箏(赤嶺和子) 笛(嘉数世勲) 胡弓(又吉真也) 太鼓(宮里和希)
- 2 広島県呉市「呉市文化ホール」平成28年8月20日(土)午後2時開演  
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 公益社団法人呉市文化振興財団  
 共催／呉市 後援／呉市教育委員会  
 第1部：琉球舞踊「老人老女」高江洲清勝・金城陽一「若衆こてい節」上原信次・上原崇弘  
           「下り口説」玉城盛義 「天川」宮城茂雄  
 第2部：組踊「花売の縁」 立方責任者(眞境名正憲)・地謡責任者(照喜名朝一)  
 配役：森川の子(玉城盛義) 乙樽(宮城茂雄) 鶴松(大城黎旺) 猿引(金城陽一)  
       猿(石垣正城) 薪取(眞境名正憲) 黒子1(上原信次) 黒子2(上原崇弘)  
 地謡：歌・三線(照喜名朝一、照喜名進、上原睦三、與那國太介)  
       箏(安慶名久美子) 笛(宇保朝輝) 胡弓(川平賀道) 太鼓(喜舎場盛勝)
- 3 広島県神石高原町「さんわ総合センターやまなみ文化ホール」平成28年11月13日(日)午後2時開演  
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会  
 共催／神石高原町教育委員会 後援／神石高原町  
 第1部：琉球舞踊「老人老女」島袋光尋・儀保政彦 「若衆こてい節」仲村圭央・糸満盛幸  
           「下り口説」安次嶺浩和 「天川」金城陽一  
 第2部：組踊「万歳敵討」 立方責任者(島袋光尋)・地謡責任者(島袋英治)  
 配役：高平良御鎖(島袋光尋) 謝名の子(平田智之) 慶雲(名嘉正光)  
       高平良の妻(前當政正雄) 高平良の娘(金城陽一) 通行人(儀保政彦)  
       列女1(仲村圭央) 列女2(糸満盛幸) 御鎖供1(山入端實)  
       御鎖供2(安次嶺浩和) きゃうちゃこ持(大城常政)  
 地謡：歌・三線(島袋英治、銘苺盛隆、上間克美、玉城巖)  
       箏(山内照子) 笛(知念久光) 胡弓(崎原盛湧) 太鼓(宇座嘉憲)
- 4 神奈川県川崎市「川崎市立勤労会館(サンピアン川崎)」平成29年1月15日(日)午後2時開演  
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会  
 後援／川崎市教育委員会 川崎沖縄芸能研究会 川崎沖縄県人会  
 第1部：琉球舞踊「老人老女」宇座仁一・前當正雄 「若衆こてい節」親泊久絃・宮城茂雄

「下り口説」當山力 「天川」眞境名律弘  
 第2部：組踊「万歳敵討」 立方責任者（親泊興照）・地謡責任者（前川朝文）  
 配役：阿麻和利（親泊興照） 鶴松（親泊久紘） 亀千代（宮城茂雄） 母（眞境名律弘）  
 供1（宇座仁一） 供2（前當正雄） きょうちゃこ持（大城常政）  
 地謡：歌・三線（前川朝文、中村一雄、仲宗根盛次、謝敷アンヘル）  
 箏（名嘉ヨシ子） 笛（大湾清之） 胡弓（高宮城実人） 太鼓（国場秀治）

5 埼玉県蕨市「蕨市民会館」平成29年3月4日（土）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 蕨市民会館  
 第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・大城常政 「若衆こてい節」池間隼人・伊野波盛人  
 「下り口説」糸満盛幸 「天川」石川直也  
 第2部：組踊「執心鐘入」  
 配役：中城若松（池間隼人） 宿の女（石川直也） 座主（嘉手苺林一）  
 小僧1（伊野波盛人） 小僧2（糸満盛幸） 小僧3（大城常政）  
 後見（神谷加奈子）  
 地謡：歌・三線（仲嶺伸吾、上地正隆、糸満一雄、幸喜信明）  
 箏（宮城秀子） 笛（宇保英明） 胡弓（銘苺春政） 太鼓（金城盛松）

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：3,115千円（執行済額3,104千円）

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓  
 発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）あるいは沖縄芝居及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 鑑賞校（鑑賞人数）：伊波中学校、喜瀬武原小中学校（405人）

日 時：平成28年8月30日（火） 午後2時開演

会 場：伊波中学校体育館

解説及びワークショップ：新里春加

第1部：琉球舞踊

「かぎやで風」佐辺良和・前當正雄 「若衆こてい節」金城真次

「上り口説」金城陽一 「天川」海勢頭あける

第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」海勢頭あける 「地謡指導」山城 暁

解 説：前川朝文

配 役：若松（金城真次）、宿の女（東江裕吉）、座主（佐辺良和）、

小僧1（金城陽一）、小僧2（新垣 悟）、

小僧3（前當正雄）、後見（廣山えりか）

地 謡：歌・三線（山城 暁、城間盛久、稲嶺盛律）、箏（比嘉淳江）、

笛（中村昌成）、胡弓（比嘉 清）、太鼓（金城睦昭）

イ 鑑賞校（鑑賞人数）：潮平中学校（251人）

日 時：平成28年10月21日（金）

会 場：糸満市立潮平中学校体育館

解 説：伊良波さゆり

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」石川直也・岸本隼人 「若衆こてい節」玉城匠

「前の浜」田口博章 「かせかけ」天願雄一

第2部：沖縄芝居①「割符」「地謡指導」（仲宗根盛次）

配役：アヤー（石川直也）、ウミトウ（金城真次）、真鍋（天願雄一）

真嘉戸（岸本隼人）、若按司（田口博章）、高志保（高宮城実人）

目差志保（玉城匠）、神（東江裕吉）

地謡：歌・三線（仲宗根盛次、大城幸雄）、箏（稲福貴子）、笛（我那覇常允）

太鼓（横目大通）

ウ 鑑賞校（鑑賞人数）：宜野座小学校、松田小学校、漢那小学校、宜野座中学校  
 （計240人）

日 時：平成28年11月28日（月） 午後2時開演

会 場：宜野座村立がらまんホール

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」宇座仁一・田口博章 「若衆こてい節」仲村圭央

「上り口説」玉城匠 「天川」眞境名律弘

第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」金城清一 「地謡指導」山城 暁

配役：若松（仲村圭央）、宿の女（石川直也）、座主（宇座仁一）、  
小僧1（田口博章）、小僧2（山入端實）、小僧3（玉城匠）、  
後見（山城亜矢乃）  
地謡：歌・三線（照喜名進・上地正隆・渡名喜康広）、箏（神谷和枝）、  
笛（宮城英夫）

エ 鑑賞校（鑑賞人数）：仲西小学校、宮城小学校、浦城小学校、港川小学校（計865人）  
日時：平成29年2月14日（火） 午後2時開演

会場：てだこホール

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」嘉手苺林一・平田智之 「若衆こてい節」石川直也  
金城真次 「上り口説」天願雄一 「天川」新垣悟

第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」金城清一 「地謡指導」山城 暁

配役：若松（金城真次）、宿の女（新垣悟）、座主（石川直也）、  
小僧1（平田智之）、小僧2（天願雄一）、小僧3（前當正雄）、  
後見（山城亜矢乃）

地謡：歌・三線（銘苺盛隆・上間克美・城間盛秋）、箏（根元良子）、  
笛（真地利尚）、胡弓（比嘉清）、太鼓（久志大樹）

### ③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

事業総額：22,660千円（執行済額22,601千円）うち交付金充当額18,081千円）

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、平成28年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：平成28年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

構成員：有限会社インターメディア

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 鑑賞校 石垣市立明石小学校、平久保小学校、野底小学校、伊原間小学校

【鑑賞会】 日 時：平成28年9月13日（火）10:30～12:00

場 所：明石小学校体育館

鑑賞人数：102人

配 役：若松（玉城匠）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）  
小僧1（上原崇弘）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）  
後見・解説（天願雄一）

地 謡：歌・三線（新垣俊道・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）  
笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（久志大樹）

【WS①】 日 時：平成28年9月13日（火）13:30～14:15（明石小1年～6年生）

場 所：明石小学校体育館 受講人数：23人

【WS②】 日 時：平成28年9月13日（火）13:45～14:35（伊原間中1年～3年生）

場 所：伊原間中学校体育館 受講人数：35人

イ 鑑賞校 石垣市立川原小学校、白保小学校、大浜小学校、富野小学校、崎枝小学校、名蔵小学校、宮良小学校

【鑑賞会】 日 時：平成28年10月12日（水）14:00～15:30

場 所：石垣市民会館

鑑賞人数：350人

配 役：若松（岸本隼人）、宿の女（佐喜眞一輝）、座主（川満香多）  
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）  
後見・解説（玉城匠）

地 謡：歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）  
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（久志大樹）

【WS①】 日 時：平成28年10月11日（火）9:30～10:15（白保小学校4、6年生）

10:30～11:15（白保小学校5年生）

場 所：白保小学校体育館 受講人数：53人

【WS②】 日 時：平成28年10月11日（火）14:00～14:45（大原小学校6年1組）

14:55～15:40（大原小学校6年2組）

場 所：大原小学校体育館 受講人数：54人

【WS③】 日 時：平成28年10月12日（水）8:30～9:15（富野小中学校小1～中3）

- ウ 鑑賞校 場所：富野小中学校体育館 受講人数：20人  
 【鑑賞会】 沖縄県立八重山特別支援学校  
 日時：平成28年10月28日（金）10:00～11:30  
 場所：八重山特別支援学校体育館  
 鑑賞人数：74人  
 配役：若松（玉城匠）、宿の女（金城真次）、座主（川満香多）  
 小僧1（天願雄一）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・仲村渠達也）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（久志大樹）
- エ 鑑賞校 宮古島市立上野小学校、上野中学校、砂川中学校  
 【鑑賞会】 日時：平成29年1月18日（水）14:00～15:30  
 場所：上野小学校体育館  
 鑑賞人数：324人  
 配役：若松（玉城匠）、宿の女（金城真次）、座主（川満香多）  
 小僧1（天願雄一）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（仲村逸夫・崎濱秀貴・國吉啓介）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（宮里和希）
- オ 鑑賞校 宮古島市立池間小中学校、宮島小学校、福嶺小学校、西辺小学校  
 【鑑賞会】 久松中学校、北中学校、狩俣中学校、南小学校  
 日時：平成29年1月19日（木）14:00～15:30  
 場所：マティダ市民劇場  
 鑑賞人数：473人  
 配役：若松（玉城匠）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）  
 小僧1（石川直也）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（仲村逸夫・崎濱秀貴・喜納吏一）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（又吉恭平）、太鼓（久志大樹）
- カ 鑑賞校 竹富町立黒島小中学校  
 【鑑賞会】 日時：平成29年2月14日（火）10:40～12:10  
 場所：黒島小中学校体育館  
 鑑賞人数：12人  
 配役：若松（田口博章）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）  
 小僧①（池間隼人）、小僧②（宮城昭博）、小僧③（玉城証）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（新垣俊道・仲村逸夫・喜納吏一）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城匠）、太鼓（横目大通）
- 【W S】 日時：平成29年2月14日（火）13:50～14:40（黒島小中学校小1～中3）  
 場所：黒島小中学校体育館 受講人数：12人
- キ 鑑賞校 竹富町立大原小学校  
 【鑑賞会】 日時：平成29年2月15日（水）10:40～12:10  
 場所：大原小学校体育館  
 鑑賞人数：62人（小学生36人、中学校12人）  
 配役：若松（田口博章）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）  
 小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（新垣俊道・仲村逸夫・喜納吏一）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城匠）、太鼓（横目大通）
- 【W S】 日時：平成29年2月15日（水） 14:05～14:50 小1～3年生 30人  
 15:00～15:45 小4～6年生 31人
- ク 鑑賞校 場所：大原小学校体育館 受講人数：61人  
 【鑑賞会】 久米島町立美崎小学校、球美中学校、沖縄県立久米島高等学校  
 日時：平成29年2月22日（水）14:00～15:30  
 場所：久米島高等学校体育館  
 鑑賞人数：200人  
 配役：若松（金城真次）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）  
 小僧1（上原崇弘）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）  
 後見・解説（岸本隼人）  
 地謡：歌・三線（仲村逸夫・大城貴幸・仲尾勝成）、箏（池間北斗）  
 笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（宮里和希）

### (3)工芸技術

#### ①重要無形文化財の伝承者養成事業

##### ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,603千円（国 7,000千円、県 151千円、村 436千円、保存会 16千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

①技能保持者6人、修了生7名で、平成27年度までの受講生7名と新人1名を対象に個人個人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、
- 5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯・仕上、9) 苧績み

講師：平良敏子（染色）、平良美恵子（芯止め、葉打ち、苧倒し、苧引き、織）、辺土名加代子（洗濯）、平良京子（苧倒し、苧引き）、桃原秋子（苧績み）、宮城涼子、山城洋子（織）、荻堂多美子（苧倒し、苧引き）、大城章子（緋結び）稲福千代（苧績み）

伝承者：金城明恵、平良清美、神谷美香、吉田木綿、座間味ゆり香、金城直美、加藤泉、山城薫

事業期間：平成28年6月8日～平成29年3月22日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

##### (2) 資料収集整理事業

古芭蕉布の購入をおこなった。

##### (3) 視察研修

①浜田市：原材料の入手現状について調査を実施した。

①日田市：「第25回重要無形文化財保持団体秀作展」で視察研修を行った。

##### (4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

##### (5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 170千円、市 251千円、保持団体 114千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師1名、伝承者2名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師2名、伝承者4名）の3部門において実施した。

講師：下地達雄、平良清子（染め）、神里佐知子（織り）、豊見山カツ子（織り）

伝承者：松堂初美、石嶺明美、羽地真理子、下地愛子、本村三子、島袋恵、山城充代

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月28日

場所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展の見学研修を実施した。

##### (2) 資料の収集整理

宮古上を資料として購入した。

##### (3) 技術研究

今年度は仕立て（与那覇洋子、新反1反・古布1反）を委託した。

(4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,011千円（国1,106千円、県202千円、町100千円、保持者602千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回（6月、11月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキュウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、1名の伝承者養成を行った。

伝承者：伊野波盛昌

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月23日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,495千円（国6,000千円、県84千円、町400千円、保存会11千円）

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①伝承者2名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

- 1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、
- 6) 沈澱・濾過

講師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝承者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月23日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

(2) 技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員6名の技術技能の錬磨を行った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国10,000千円、県133千円、保存会147千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：神里佐千子）

事業期間：28年4月1日～29年3月27日

場所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①宮古上布の原料となる苧麻の栽培から、整経までの5工程を17教室（平5、下地3、上野2、城辺2、伊良部1、多良間1）において講師1名、研修生1～

6名で実施した。研修の内容は以下の通りである。

- 1) 苧麻栽培・収穫、2) 繊維剥ぎ取り(苧麻の表皮)、3) 糸績み、4) 撚りかけ、5) 整経

②他産地の視察研修(小千谷縮・越後上布、久米島紬、琉球絣、手機製作等)を行った。

③中級講習のための教場を1ヶ所開講し、初級講習修了でも気軽に苧麻績みが出来る環境を整えた。

(2) 技術・技能の錬磨事業

苧麻績み指導の基本部分を統一するために講師の勉強会を開催した。

(3) 研修発表事業

伝承者・会員の成果品の展示会を開催。

### ③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円(県 320千円、保存会 106千円)

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会(代表：城間榮順)

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、特殊な技法で型紙製作(糸掛けによる型紙)または型紙を使用して染めるびん型(白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型)、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型(風呂敷・幕・タペストリー)のいずれかの指導を行った。

各工程については次のとおりである。

- 1) 下絵、2) 型紙彫り/糊袋作成、3) 型置き/筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：城間栄市(6)、知念績人(6)、喜友名速(17)

事業期間：平成28年11月1日～平成29年3月31日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：347千円(県 259千円、保存会 86千円)

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会(代表：祝嶺恭子)

事業内容：「花織」の全工程(製図から製織まで)の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- 1) 意匠設計、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊つけ、5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 花綜紉作り、10) 紹綜紉作り、11) 綜紉通し、12) 花綜紉通し、13) 紹綜紉通し、14) 箆通し、15) 織付け、16) 緯糸染色、17) 緯糸小管巻き、18) 製織、19) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：溝渕幸恵(10)、野原園子、玉木由香(7)、今帰仁桃子(8)、山城麻希子(5)

事業期間：平成28年11月1日～平成28年12月27日

場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円(県 336千円、保存会 112千円)



実施方法：県補助による保存会直営事業  
事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）  
事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。  
講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子  
伝承者：島袋明美（21）、比嘉昌子（9）、山田恵利子（9）  
事業期間：平成28年10月3日～平成29年3月31日  
場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、市60千円、保存会46千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：講師5名で伝承者3名に対し、手括り、捺染の技を受講生の経験に応じて指導した。中村澄子氏の工房では着尺に統一して指導した。新垣幸子氏の工房では、前年同様苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込み、糸数江美子氏と共に帯地の指導をした。また、今年度は八重山藍の仕込み方、花織や紹織の組み合わせの指導も行った。松竹喜生子氏の工房では、ブー績みを講習に組み込み、平良蓉子氏と共に帯地の指導をした。

講師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝承者：中村雪江（6）、島袋知佳子（3）、浦崎しなこ（3）

事業期間：平成28年9月1日～平成29年2月10日

場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県262千円、保存会87千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）

事業内容：講師2人で昨年度から継続の各伝承者（沈金2人、箔絵・螺鈿1人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。

- 1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、
- 4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰り返す）、
- 5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ

講師：金城唯喜、前田孝允

伝承者：前田貴子（20）、前田栄（10）

事業期間：平成28年11月1日～平成29年3月25日

場所：各保持者工房

### 3. 民俗文化財

#### (1) 民俗文化財

##### ① 沖縄の行事食に関する総合調査事業

事業総額：2,641,280円（国2,113,000円、県528,280円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成28年4月1日から平成29年3月31日

事業目的：沖縄県の行事食は、先祖崇拝や民間信仰といった沖縄の基礎文化と深く結びついており、その食材、調理法や用具、祭祀における取扱等の習俗について地域的な特色が見られる。本調査事業は、沖縄の行事食の実態の把握と各地域の状態、文化財的価値などを明らかにするために、全県的、民俗学的総合調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進に資する基礎資料を作成することを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が行事食に関する総合調査を行った。

調査委員：赤嶺 政 信（琉球大学法文学部教授）

萩原 左 人（琉球大学法文学部教授）

本永 清（県文化財保護審議会審議委員）

波平 エリ子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

阿利 よし乃（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

大城 博 美（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

井口 学（名護市史本編 自然編 調査員）

調査協力員：4名

##### ② 第58回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,480,800円（県500,000円 団体880,800円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：新城シーヤーマー保存会

大会名称：第58回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成28年11月27日（日）

開催場所：長崎市民会館ホール（長崎県長崎市）

派遣芸能：新城伝統芸能シーヤーマーは女性の集団舞踏として村の行事等機会があるごとに踊られ、今日まで継承されてきた。シーヤーマーの由来は、女性たちが椎山に椎の実を拾いに出かけ、椎の実を拾い終えると車座になって歌を歌ったり、皆で一斉に椎の実を拾う所作で踊ったりして遊びを興じたという。その遊びながら椎の実を拾う所作を即興的に踊った、踊りや歌が、新城に昔から伝わるシーヤーマーの起源と言われている。

シーヤーマーは沖縄で唯一の踊りであり、1838年（天保9年）尚育王冊封使一行を歓待するため、首里王府で上演し称賛を得ることになった。

沖縄戦のため、戦中、戦後一時期中断があったが、区民や有志の努力によって1948年（昭和23年）22年ぶりに復活上演が行われた。

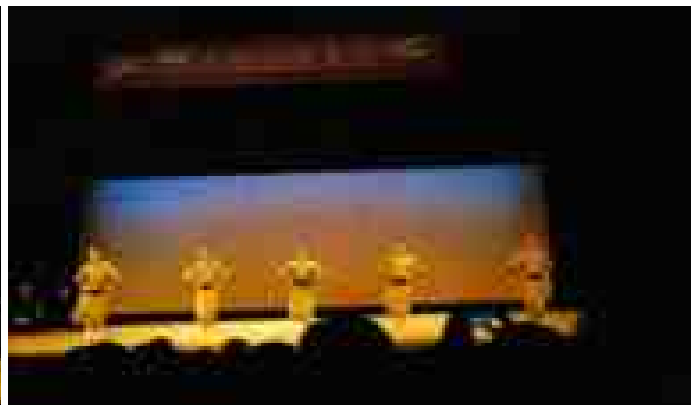
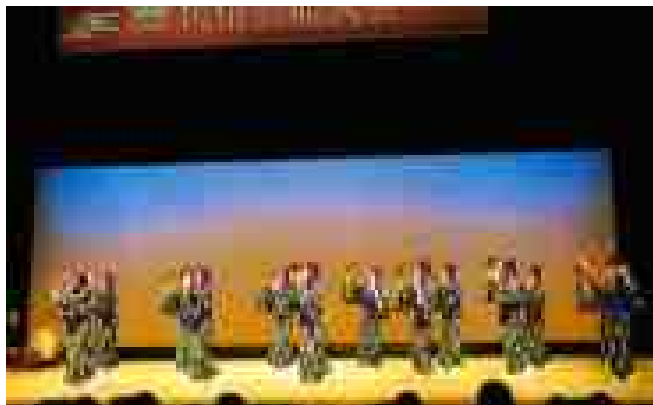
出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	いまいかぐら 今井神楽	今井神楽研修会（福岡県）
2	みろかしふりゆう 見借浮立	見借浮立保存会（佐賀県）
3	しばぐちおおぎやぶし 芝口大鞆節	芝口大鞆節（芝口大鞆節保存会）
4	ゆすはらだいこ 柞原太鼓	柞原太鼓保存会（大分県）
5	たかやじんじやくぐら 高屋神社神楽	高屋神社神楽保存会（宮崎県）
6	きりしまじんぐう たうなまつ 霧島神宮のお田植祭り	霧島神宮のお田植祭り保存会（鹿児島県）
7	あらぐすくでんとうげいのう 新城伝統芸能シーヤーマー	新城伝統芸能シーヤーマー保存会（沖縄県）
8	なかおししふりゆう からこどり 中尾獅子浮立と唐子踊	中尾獅子浮立と唐子踊保存会（長崎県）
9	たゆいふりゆうか うおどり 田結浮立掛け打ち踊り	田結浮立保存会（長崎県）

※ 九州各県から1団体、開催地長崎県は2団体



新城シーヤーマー保存会の皆様（沖縄県）



新城伝統芸能シーヤーマー（沖縄県）

## 4. 記念物

### (1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計121件（平成29年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成28年度は国指定史跡「フルスト原遺跡」、「浦添城跡」、「勝連城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「伊礼原遺跡」、「座喜味城跡」（災害復旧）、特別名勝「識名園」、名勝「伊江殿内庭園」、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」において保存整備事業を実施した。また、史跡等総合整備活用推進事業として、国指定史跡「具志川城跡」（久米島町）、「中城城跡」、「内間御殿」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」においてそれぞれ実施した。史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「島添大里城跡」、「大和井」にて実施した。なお「伊江御殿別邸庭園」、「伊礼原遺跡」については先行取得償還を実施した。史跡等保存活用計画策定事業は国指定史跡「斎場御嶽」、「具志川城跡」（糸満市）でそれぞれ実施した。文化的景観保護推進事業は「北大東村字港区」、「今泊の伝統的集落」で実施した。

尚、平成27年度の繰越事業として、「今帰仁城跡附シイナ城跡」の史跡等総合整備活用推進事業及び「今泊の伝統的集落」の文化的景観保護推進事業を実施した。

#### ①受託事業

##### 発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査関連資料整理、報告書作成業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成28年度は首里城地区発掘関連資料整理及び、報告書作成業務をおこなった。

事業主体：沖縄県

事業費：40,516,000円

#### ②国庫補助事業

##### ア) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：うるま市

事業経費：1,319,340円（国1,055,000円、県22,000円、市242,340円）

特記事項：79.00㎡ 1筆

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：15,088,441円（国12,068,000円、県255,000円、村2,765,441円）

買上げ実績：6,351㎡ 4筆

- c) 事業名：史跡「島添大里城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：南城市

事業経費：11,613,313円（国9,289,000円、県197,000円、市2,127,313円）

買上げ実績：721.04㎡ 1筆

- d) 事業名：史跡「大和井」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：宮古島市

事業経費：2,919,000円（国2,335,000円、県0円、市584,000円）

買上げ実績：203㎡ 1筆

- e) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：97,855,260円（国78,284,000円、県1,993,000円、市17,908,260円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

f) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：北谷町

事業経費：186,250,471円（国149,000,000円、県3,166,000円、町34,084,471円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存整備事業

a) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」保存整備

事業主体：石垣市

事業経費：9,017,746円（国7,200,000円、県261,000円、市1,556,746円）

事業内容：○第10号、15号石塁の修復後の写真測量を実施した。

○平成32年度の報告書刊行に向け、今年度は第3号、第4号石塁出土の整理を行った。整理は主に、実測及び図化を行った。

◇フルスト原遺跡整備委員会

平成28年11月24日（石垣市教育委員会2階会議室、及び史跡フルスト原遺跡）

b) 事業名：史跡「浦添城跡」保存整備

事業主体：浦添市

事業経費：15,096,115円（国12,075,000円、県437,000円、市2,584,115円）

事業内容：○内郭西地区の遺構調査及び前年度までに出土した遺物の整理作業を行った。

○遺構調査は整備に先立つ内郭西地区の発掘作業を行い、長さ4mの城壁を確認した。

○整理作業では洗浄作業、注記作業、実測作業、トレース作業などを行った。

◇浦添城跡整備委員会

平成29年1月31日（浦添市役所、浦添城跡）

c) 事業名：史跡「勝連城跡」保存整備

事業主体：うるま市

事業経費：15,127,062円（国12,100,000円、県438,000円、市2,589,062円）

事業内容：○東の郭（約260㎡）の遺構調査をうるま市教育委員会直営により実施した。

○一の郭石積み積み下部の基盤層の現況を把握するため基盤岩盤調査を委託により実施した。

◇勝連城跡整備委員会

1)平成29年1月24日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）

2)平成29年2月16日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）

3)平成29年3月21日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）

d) 事業名：史跡「座喜味城跡」保存整備（災害復旧）

事業主体：読谷村

事業経費：67,456,800円（国57,337,000円、県3,034,000円、村7,085,800円）

事業内容：○実施設計（全体）

○地滑りの復旧

e) 事業名：特別名勝「識名園」保存整備

事業主体：那覇市

事業経費：7,556,760円（国6,044,000円、県219,000円、市1,293,760円）

事業内容：○御殿東側屋根漆喰補修工事、ポンプや根瓦補修を行った。

○心字池の水の浄化作業を委託した。

f) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」保存整備

事業主体：那覇市

事業経費：6,583,090円（国5,266,000円、県190,000、市1,127,090円）

事業内容：○東側急斜地の石積復旧工事を実施した。

◇伊江殿内庭園現場検討会及び整備委員会

平成28年8月18日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）

g) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」保存整備

事業主体：浦添市

事業経費：8,942,400円（国7,050,000円、県255,000円、市1,637,400円）

事業内容：○普天満参詣道の岩盤の落石防護対策工事（防護網設置工）を実施した。

h) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」保存整備

事業主体：北谷町

事業経費：47,977,220円（国38,381,000円、県1,391,000円、町8,205,220円）

事業内容：○平成31年度史跡の公開活用に向け、史跡公園整備実施設計業務及び基盤整備工事施工管理業務を委託で実施

○敷地造成工事は工事請負費で遺構の保全を前提に盛土工事を北半分実施した。

◇伊礼原遺跡整備委員会

1)平成28年11月30日（北谷町教育委員会）

2)平成29年3月6日（北谷町教育委員会）

i) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等保存修理事業

事業主体：沖縄県

事業経費：18,310,410円

事業内容：○三門跡の遺構調査を実施した。

○文化庁「史跡等における歴史的建造物の取り扱いに関する専門委員会」において基本設計が承認された後、実施設計に着手した。

○整備委員会を設置し、三門の復元や三門前背後の整備について検討を行った。

◇史跡「円覚寺跡」整備委員会

1)平成28年8月19日（円覚寺跡現場・沖縄県立芸術大学会議室）

2)平成29年1月20日（沖縄県庁13階第5会議室）

j) 事業名：史跡「首里城跡」史跡等保存修理事業

事業主体：沖縄県

事業経費：2,908,180円

事業内容：○首里城跡南城郭地区城壁の目地の開きが拡大している箇所を中心に、城壁の健全度を確認するため、変状調査を実施した。

○整備委員会を設置し、城壁の目地の拡大や孕みがある箇所についての対応策を検討した。

◇史跡「首里城跡」周辺整備委員会

1)平成28年10月28日（首里城跡二階御殿会議室）

ウ) 史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

a) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」保存整備

事業主体：今帰仁村

事業経費：14,536,641円（国11,628,000円、県421,000円、村2,487,641円）

事業内容：○屋敷地跡の遺構調査は、今帰仁村教育委員会直営により実施した。

○外郭修景工事の測量設計は委託により実施した。

○外郭修景工事は、委託により実施した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡整備委員会

平成28年10月25日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）

b) 事業名：史跡「具志川城跡（久米島町）」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

事業主体：久米島町

事業経費：12,140,291円（国9,711,000円、県352,000円、町2,077,291円）

事業内容：○石積の遺構状況確認のため、三の郭外郭内外の発掘調査を実施した。  
○保存修理工事に伴う設計監理業務を委託で実施した。  
○三の郭南側の石積の修復を行い、木製階段を設置した。  
○平成11年度から平成15年度までの保存修理事業の成果をまとめた報告書を300冊刊行した。

◇具志川城跡整備委員会

1)平成28年10月26日(久米島町役場・史跡「具志川城跡」)  
2)平成29年3月10日(久米島町物館講堂・史跡「具志川城跡」)

c) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等総合活用支援推進事業

事業主体：中城村

事業経費：30,023,622円(国24,000,000円、県870,000円、村5,153,622円)

事業内容：○一の郭北側城壁外面の中段にある平坦部で発掘調査を実施。  
○出土遺物の資料整理を実施した。  
○平成28年度整備工事の実施設計及び施工管理を委託で実施。  
○遺構確認調査の際に出土した遺物の科学分析を委託で実施した。  
○一の郭南側崖の亀裂部分の観測データの収集及び解析を委託で実施した。  
○発掘調査、整備工事によって一の郭北側外壁で検出した遺構の測量を委託で実施した。  
○発掘調査で出土した金属製品の保存処理を委託で実施した。  
○発掘調査で出土した鍛冶遺物及び金属製品の化学分析を委託で実施した。  
○平成23年度に解体した一の郭の石積の積み直しと城壁拱門から南の郭に向かう通路の石積の解体積み直しを請負で実施した。

◇中城城跡整備委員会

平成28年10月31日(中北消防署2階会議室)

d) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等総合活用支援推進事業

事業主体：西原町

事業経費：19,311,141円(国15,447,000円、県559,000円、町3,305,141円)

事業内容：○前年度に実施した樹木剪定箇所の切断面に防腐処理を施した。  
○東殿敷地に残存する石造構造の三次元計測やカルテ作成を行った。  
○史跡の用地測量と境界杭の打ち直しを実施した。

◇内間御殿整備委員会及び現地指導

平成29年2月15日(西原町立図書館・史跡「内間御殿」)

e) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等総合活用支援推進事業(平成27年度繰越事業)

事業主体：今帰仁村

事業経費：26,504,870円(国21,127,000円、県607,000円、村4,770,874円)

事業内容：○平郎門前の発掘調査を村営で実施した。  
○修理工事の測量設計、カーザフ地区城壁の写真測量を請負で実施した。

エ) 史跡等保存活用計画策定事業

a) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：糸満市

事業経費：3,228,355円(国2,580,000円、県100,000円、市548,355円)

事業内容：○指定地内の現地測量を実施し、遺構等の確認、各種文献資料等の収集を行った。

◇具志川城跡保存活用計画検討委員会

1)平成28年11月1日(糸満市役所)

2)平成29年2月28日(糸満市役所)

b) 事業名：史跡「斎場御嶽」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：南城市

事業経費：2,711,320円（国2,168,000円、県83,000 市460,320円）

事業内容：○中間報告書を取りまとめた。

◇斎場御嶽保存活用計画策定委員会

1)平成28年11月7日（南城市大里庁舎3階）

2)平成29年3月1日（南城市大里庁舎3階）

オ) 文化的景観保護推進事業

a) 事業名：「北大東村字港区」文化的景観保護推進事業

事業主体：北大東村

事業経費：6,018,160円（国4,812,000円、県285,000 村921,160円）

事業内容：○燐鉱・定住・港の文化的景観特性の整理

○文化的景観の対象範囲の確認及び測量図化

○文化的景観の保存と整備に関する基本方針及び土地利用方針、体制の検討

○文化的景観の重要構成要素の整理と保存計画書の作成。

◇北大東村字港地区文化的景観保護推進委員会

1)平成28年10月21日（北大東村役場）

2)平成29年3月30日（株式会社国建事務所）

b) 事業名：「今泊の伝統的集落景観」文化的景観保護推進事業（平成27年度繰越事業）

事業主体：今帰仁村

事業経費：5,460,854円（国4,367,000円、県233,000 村860,854円）

事業内容：○今泊の伝統的集落景観の保存計画を検討し、基礎資料を作成した。

○保存計画及び委員会の運営を請負実施した。

◇今泊の伝統的集落景観保存計画策定委員会

1)平成28年11月22日（今帰仁村歴史文化センター）

2)平成29年2月23日（ // ）

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：699,840円（県300,000円、市399,840円）

事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の側溝側面石積を修繕し、排水蓋を設置した。

崩落の恐れのある側溝を、既存の石材と一部新材を利用して修理した。

○石畳道の修繕は工事請負で実施した。

○平成28年度の修繕は側溝側面0.28㎡、排水蓋1.14㎡、既設石敷の撤去復旧1.14㎡で実施。

イ) 管理事業

a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

1) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成28年5月20日付け28受庁財第4号の89）

石垣市村による名勝「川平湾及び於茂登岳」の階段、5号園路、展望休憩所の改築工事を文化庁が許可。

2) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の206）

那覇市による法面保護工事及び石積復旧工事を文化庁が許可。

3) 史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の207）



浦添市による落石防護網の設置工事を文化庁が許可。

- 4) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の234）  
北谷町による基盤整備工事を文化庁が許可。
- 5) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の251）  
浦添市による内郭西地区の石積城壁の遺構確認調査及び排土や礫の仮置き、樹木の伐採を文化庁が許可。
- 6) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の231）  
県埋文センターによる真珠道及び国王頌徳碑の復元に向けた発掘調査を文化庁が許可。
- 7) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成28年6月17日付け28受庁財第4号の295）  
円覚寺三門周辺における遺構調査を文化庁が許可。
- 8) 県名「伊江島の城山」の現状変更（平成28年6月10日付け沖縄県教育委員会指令第29号）  
伊江村による道路の拡幅、拡幅、舗装工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 9) 名勝「伊江御殿別邸庭園」の現状変更（平成28年7月15日付け28受庁財第4号の423）  
那覇市による崩落の恐れのある石積の撤去及び撤去した箇所モルタルによる補修工事を文化庁が許可。
- 10) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成28年7月15日付け28受庁財第4号の590）  
那覇市による御殿東側屋根の洗浄および洗浄によつてはがれた漆喰の塗り替えを文化庁が許可。
- 11) 史跡「座喜味城跡」の現状変更：災害復旧（平成28年7月15日付け27受庁財第4号の591）  
読谷村による表層崩壊した箇所の法面補強、種子吹付工事及び園路舗装工事を文化庁が許可。
- 12) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成28年6月30日付け沖縄県教育委員会指令第32号）  
読谷村による仮設物（プレハブ）の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 13) 県史名「首里金城町の石畳道」の現状変更（平成28年7月6日付け沖縄県教育委員会指令第34号）  
那覇市による側溝側面補修、既設石敷撤去復旧、排水蓋設置工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 14) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成28年7月25日付け28受庁財第4号の719）  
久米島町による遺構確認調査、石積修復工事、階段設置工事を文化庁が許可。
- 15) 県史「西塘御嶽」の現状変更（平成28年7月27日付け沖縄県教育委員会指令第36号）  
竹富町による風雨で崩壊した石積の復旧工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 16) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年9月16日付け28受庁財第4号の761）  
中城村による城壁解体工事、発掘調査を文化庁が許可。
- 17) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成28年9月16日付け28受庁財第4号の811）  
うるま市による遺構発掘調査を文化庁が許可。
- 18) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年8月25日付け沖縄県教育委員会指令第41号）  
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年8月29日付け沖縄県教育委員会指令第43号）  
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成28年9月7日付け沖縄県教育委員会指令第45号）  
沖縄県による石積解体工事の基礎資料を得るための土質調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 21) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年9月7日付け沖縄県教育委員会指令第46号）  
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 22) 県名「万座毛」の現状変更（平成28年9月16日付け沖縄県教育委員会指令第48号）  
恩納村による指定地内の恩納漁港の浚渫工事、港内の埋め立て、岸壁新設工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年9月30日付け沖縄県教育委員会指令第51号）  
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 24) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成28年11月18日付け28受庁財第4号の1216）  
南城市による城壁修復工事及び発掘調査を文化庁が許可。
- 25) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年10月14日付け沖縄県教育委員会指令第56号）

に沖縄ジャズフェスティバル実行委員会によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 26) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年10月14日付け沖縄県教育委員会指令第57号）  
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 27) 史跡「首里城」の現状変更（平成28年10月21日付け沖縄県教育委員会指令第58号）  
首里城祭実行委員会によるイベントに伴う仮設物（蝋燭入りカップ）の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 28) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年11月2日付け沖縄県教育委員会指令第61号）  
株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年11月2日付け沖縄県教育委員会指令第62号）  
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 30) 史跡「先島諸島火番盛」の現状変更（平成28年11月16日付け沖縄県教育委員会指令第63号）  
竹富町による安全対策のための仮設物（チェーンポスト）の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 31) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成28年11月18日付け28受庁財第4号の1199）  
国営沖縄記念公園による金蔵周辺整備及び美服門周辺整備を文化庁が許可。
- 32) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成28年12月9日付け沖縄県教育委員会指令第68号）  
沖縄県による監視カメラやスピーカーおよび、それに伴う埋設ケーブルの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 33) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年12月14日付け沖縄県教育委員会指令第69号）  
今帰仁村によるプレハブ小屋、コンクリート建築物の撤去及びタンクの除去を沖縄県教育委員会が許可。
- 34) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年12月16日付け沖縄県教育委員会指令第73号）  
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 35) 史跡「島添大里城跡」の現状変更（平成29年1月27日付け28受庁財第4号の1557）  
南城市による仮設物の撤去及び樹木の伐根を文化庁が許可。
- 36) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成29年2月10日付け28受庁財第4号の1785）  
第11管区海上保安本部によるボーリング調査を文化庁が許可。
- 37) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成29年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第2号）  
那覇市による城西小学校施設建設工事に伴う囲い板の設置及び樹木の伐採等を沖縄県教育委員会が許可。
- 38) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年2月22日付け沖縄県教育委員会指令第6号）  
株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 39) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成29年2月24日付け沖縄県教育委員会指令第7号）  
今帰仁村による買上事業に伴う立木の伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 40) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成29年3月7日付け沖縄県教育委員会指令第10号）  
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

## (2) 天然記念物

### ①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：天然記念物緊急調査（ケナガネズミ）

事業総額：4,372千円（国3,413千円、県959千円）

事業主体：沖縄県

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

（平成24年度～平成28年度までの5年間継続事業）

事業目的：沖縄本島北部に生息する日本最大の野生ネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年目撃事例が増えてきているものの、個体数が増加していると明言できる状況にはない。ここ数年、交通事故死が増加しており、今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

調査委員：千木良芳範 宜野湾市立博物館 館長

久高 将和	カメラマン
久高 奈津子	Yambaru Green 代表
村山 望	新星出版カメラマン
中村 智映	沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
吉岡 由恵	沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課教育普及員
丸山 勝彦	沖縄県立南風原高等学校教諭
知花 史尚	沖縄県立中部商業高校教頭
德里 政哉	沖縄県環境部自然保護課主査
城間 恒宏	沖縄県教育庁文化財課指導主事
事務局：濱川 靖	沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域  
(2)調査項目  
a) 生息実態調査  
b) 行動観察（繁殖行動、その他樹上での行動）

## ②史跡等保存活用計画等策定事業（国庫補助事業）

事業名：史跡等保存管理計画策定（名護市嘉陽層の褶曲）  
事業総額：4,002千円（国3,200千円、県124千円、名護市678千円）  
事業主体：名護市  
事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日  
（平成28年度～平成29年度までの2年間継続事業）  
事業目的：国指定天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」について、保存管理及び活用の方法等を検討し保存活用計画を策定する。平成28年度は、崖面の測量や写真撮影等、計画策定に向けての基礎資料の収集を行うとともに、専門委員を選任し、計画策定委員会を発足する。

## ③歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（国庫補助事業）

事業名：史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備（久米島町奥武島の畳石）  
事業総額：3,632千円（国2,905千円、県105千円、久米島町622千円）  
事業主体：久米島町  
事業期間：平成28年4月12日～平成29年3月24日（平成28年度 単年度事業）  
事業目的：天然記念物「久米島町奥武島の畳石」の適切な保存・活用するため、陸域側の境界を把握するための測量及び境界杭設置を行うほか、既設表示板を撤去し、新たに国指定総合案内板（標柱・案内板を含む）を設置する。  
事業内容：（1）境界標設置及び境界測量  
（2）総合案内板製作・設置

## ④天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（久米の五枝のマツ）  
事業総額：3,420千円（国2,736千円、県153千円、久米島町531千円）  
事業主体：久米島町  
事業期間：平成28年8月5日～平成29年3月31日  
（平成28年度～平成29年度までの2年間継続事業）  
事業目的：久米の五枝のマツの適切な保存・管理を図るため、樹木医の診断に基づき、害虫駆除や土壌改良等の樹勢回復を実施する。また、マツ本体部分の空洞や過年度事業で設置した木道が下枝への影響が指摘されたことから、2ヶ年事業として適切な樹勢回復業務を実施する。  
本年度は、樹勢回復を図るため、害虫駆除や施肥等の作業ほか、既設木道を撤去し、マツへの影響が少ない場所に新たに木道を設置する。  
事業内容：（1）久米の五枝のマツ樹勢回復業務

- (2) 既設木道の撤去および木道新設（樹勢回復の一環として実施）
- (3) 樹勢回復に係る現地指導

#### ⑤天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（慶佐次湾のヒルギ林）

事業総額：3,153千円（国2,522千円、県141千円、東村490千円）

事業主体：東村

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月24日

（平成28年度～平成30年度までの3年間継続事業）

事業目的：河川周辺からの赤土等の流入による天然記念物植生域の陸地化等による外来生物の侵入、植生分布範囲の拡大による河川生態系への劣化が懸念されているため、外来生物及び特定外来生物の分布調査を行い、駆除及び防除策を実施し、今後の適正な維持管理体制を構築する。

#### ⑥天然記念物食害対策事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物食害対策事業（ケラマジカおよびその生息地）

事業総額：9,410千円（国6,273千円、県329千円、座間味村2,808千円）

事業主体：座間味村

事業期間：平成28年8月5日～平成29年3月31日

（平成25年度～平成28年度までの4年間継続事業）

事業目的：ケラマジカから農作物等の食害を防止するため「新設のフェンスを設置する事業」と「既存のフェンスが腐食しているため取り壊して新たに新設する事業」である。総延長249.0mを阿嘉島で実施する。ケラマジカは、日中・夜間を問わず餌を求めて農地や集落に出没し、農作物・家庭菜園・花木等を食い荒らして被害をおよぼしていることから、ケラマジカからの農作物の被害を早急に改善する必要がある。また、この事業を実施することによりケラマジカの保全・保護と地域住民との共存共栄ができるように努めなければならない。

#### ⑦天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物関連事業

事業総額：87千円（県87千円）

事業主体：沖縄県

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。また、天然記念物の保護するための普及啓発ポスターの作成を行う。

事業内容：(1)調査地 東村、名護市

(2)調査項目

a) 保全上の課題を有する物件の現地調査

b) 指定候補物件の現地調査

(3)普及啓発ポスター作成

## ⑧天然記念物の現状変更等

- 1) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養・展示)申請 (H28.4.8 許可)  
申請者(日付):宜野湾市立博物館 館長 宮城邦治 (H28.3.9 )  
許可(期間):平成28年4月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第17号 (H28.4.8 ~ 個体滅失)
- 2) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(外来種除去及び在来種植樹)申請 (H28.4.11 許可)  
申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H28.3.11 )  
許可(期間):平成28年4月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第18号 (H28.4.11 ~H28.6.30 )
- 3) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置)協議 (H28.4.8 進達)  
協議者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H28.3.29 )  
同意(期間):平成28年5月20日 付け 28受庁財第4号の61 (H28.5.20 ~H28.8.31 )
- 4) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (H28.4.21 進達)  
協議者(日付):沖縄総合事務局 北部国道事務所長 喜舎場正秀 (H28.3.31 )  
同意(期間):平成28年5月20日 付け 28受庁財第4号の167 (H28.5.20 ~H31.5.19 )
- 5) 【県天】フタオチョウ、クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.4.27 許可)  
申請者(日付):沖縄防衛局長 (H28.3.30 )  
許可(期間):平成28年4月27日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (H28.4.27 ~H30.3.31 )
- 6) 【県天】クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H28.4.25 許可)  
申請者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 西村学 (H28.4.13 )  
許可(期間):平成28年4月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (H28.4.25 ~H29.3.30 )
- 7) 【国天】リュウキュウキンバトの現状変更(生息状況調査及び試料採取)申請 (H28.4.27 許可)  
申請者(日付):北海道大学大学院理学研究院・教授 高木昌興 (H28.4.12 )  
許可(期間):平成28年4月27日 付け 沖縄県教育委員会指令第21号 (H28.4.28 ~H28.12.31 )
- 8) 【県天】イボイモリ、クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.5.10 許可)  
申請者(日付):沖縄総合事務局 北部国道事務所長 喜舎場正秀 (H28.3.29 )  
許可(期間):平成28年5月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 (H28.5.10 ~H31.5.9 )
- 9) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (H28.5.27 進達)  
協議者(日付):沖縄防衛局長 (H28.4.20 )  
同意(期間):平成28年6月17日 付け 28受庁財第4号の373 (H28.6.17 ~H27.3.31 )
- 10) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息状況調査)申請 (H28.6.3 許可)  
申請者(日付):株式会社沖縄環境分析センター 代表取締役社長 西銘史則 (H28.4.15 )  
許可(期間):平成28年6月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (H28.6.3 ~H28.7.31 )
- 11) 【県天】イボイモリ、クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.6.3 許可)  
申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.5.18 )  
許可(期間):平成28年6月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (H28.6.3 ~H31.6.2 )
- 12) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.5.27 進達)  
申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.5.18 )  
許可(期間):平成28年6月17日 付け 28受庁財第4号の374 (H28.6.17 ~H31.6.16 )
- 13) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(捕獲罟設置等)申請 (H28.5.27 許可)  
申請者(日付):株式会社沖縄環境地域コンサルタント 庄島興一 (H28.5.19 )  
許可(期間):平成28年5月27日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 (H28.5.30 ~H28.6.30 )
- 14) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.5.27 進達)  
申請者(日付):株式会社イーエーシー 代表取締役 大石哲也 (H28.5.24 )  
許可(期間):平成28年6月17日 付け 28受庁財第4号の375 (H28.6.17 ~H29.6.16 )
- 15) 【県天】クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.6.3 許可)  
申請者(日付):沖縄防衛局長 (H28.4.20 )  
許可(期間):平成28年6月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第26号 (H28.6.3 ~H27.3.31 )
- 16) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息状況調査)申請 (H28.6.1 許可)  
申請者(日付):株式会社沖縄環境地域コンサルタント 庄島興一 (H28.5.27 )  
許可(期間):平成28年6月1日 付け 沖縄県教育委員会指令第25号 (H28.6.1 ~H28.6.30 )
- 17) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.6.24 進達)  
申請者(日付):株式会社イーエーシー 代表取締役 大石哲也 (H28.6.9 )  
許可(期間):平成28年7月15日 付け 28受庁財第4号の634 (H28.7.15 ~H31.7.14 )
- 18) 【国天】ヤンバルテナゴコガネの現状変更(生息状況調査及び組織採取等)協議 (H28.6.24 進達)  
協議者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H28.6.13 )  
同意(期間):平成28年7月15日 付け 28受庁財第4号の633 (H28.7.15 ~H31.3.31 )

- 19) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲)申請 (H28.8.5 許可)  
 申請者(日付): 沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H28.6.14 )  
 許可(期間): 平成28年8月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (H28.8.5 ~H29.2.28 )
- 20) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.6.30 許可)  
 申請者(日付): 沖縄県農林水産部 宮古農林水産振興センター所長 植田修 (H28.6.13 )  
 許可(期間): 平成28年6月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第33号 (H28.6.30 ~H29.3.31 )
- 21) 【県天】与那国島久部良岳天然保護区域の現状変更(植生の伐採)申請 (H28.7.15 許可)  
 申請者(日付): 沖縄県知事 翁長雄志 (H28.6.24 )  
 許可(期間): 平成28年7月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第35号 (H28.7.15 ~H29.3.31 )
- 22) 【県天】フタオチョウ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.8.2 許可)  
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (H28.7.12 )  
 許可(期間): 平成28年8月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第37号 (H28.8.2 ~H29.3.31 )
- 23) 【県天】指定動物4種の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.8.10 許可)  
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H28.7.27 )  
 許可(期間): 平成28年8月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第40号 (H28.8.10 ~H29.9.30 )
- 24) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.8.18 進達)  
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H28.7.27 )  
 許可(期間): 平成28年9月16日 付け 28受庁財第4号の947 (H28.9.16 ~H29.9.30 )
- 25) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(工作物設置)申請 (H28.8.19 許可)  
 申請者(日付): 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.7.25 )  
 許可(期間): 平成28年8月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (H28.8.19 ~H29.3.31 )
- 26) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(工作物設置)申請 (H28.8.25 許可)  
 申請者(日付): 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.7.25 )  
 許可(期間): 平成28年8月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第44号 (H28.8.25 ~H29.3.31 )
- 27) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.8.22 進達)  
 申請者(日付): 八千代エンジニアリング株式会社 沖縄事務所 所長 阿川泰之 (H28.8.17 )  
 許可(期間): 平成28年9月16日 付け 28受庁財第4号の952 (H28.9.16 ~H29.9.15 )
- 28) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(植生調査及び外来種除去)申請 (H28.9.1 許可)  
 申請者(日付): 東村教育委員会 教育長 比嘉一之 (H28.8.12 )  
 許可(期間): 平成28年9月1日 付け 沖縄県教育委員会指令第47号 (H28.9.1 ~H31.3.31 )
- 29) 【国天】久米の五枝のマツの現状変更(樹勢回復等)申請 (H28.8.26 進達)  
 申請者(日付): 久米島町長 大田治雄 (H28.8.23 )  
 許可(期間): 平成28年9月16日 付け 28受庁財第4号の1005 (H28.9.16 ~H29.2.28 )
- 30) 【国天】念頭平松の現状変更(標識設置)申請 (H28.7.5 許可)  
 申請者(日付): 伊平屋村長 伊礼幸雄 (H28.7.1 )  
 許可(期間): 平成28年7月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (H28.7.5 ~H28.12.28 )
- 31) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲)申請 (H28.9.16 許可)  
 申請者(日付): 筑波大学生命環境系 教授 本多正尚 (H28.9.16 )  
 許可(期間): 平成28年9月16日 付け 沖縄県教育委員会指令第50号 (H28.9.16 ~H29.9.15 )
- 32) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(河道整備)申請 (H28.9.28 進達)  
 申請者(日付): 沖縄県知事 翁長雄志 (H28.9.13 )  
 許可(期間): 平成28年10月21日 付け 28受庁財第4号の1186 (H28.10.21 ~H31.10.20 )
- 33) 【国天】ツシマヤマネコの現状変更(飼育下個体の移動及び繁殖)協議 (H28.9.28 進達)  
 協議者(日付): 環境省 九州地方環境事務所長 (H28.9.5 )  
 同意(期間): 平成28年10月21日 付け 28受庁財第4号の1185 (H28.10.21 ~H31.10.20 )
- 34) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(環境影響調査)申請 (H28.9.30 許可)  
 申請者(日付): 株式会社沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H28.9.16 )  
 許可(期間): 平成28年9月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (H28.9.30 ~H29.2.28 )
- 35) 【県天】真謝のチュラフクギの現状変更(樹勢回復)申請 (H28.10.7 許可)  
 申請者(日付): 久米島町長 大田治雄 (H28.9.27 )  
 許可(期間): 平成28年10月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第55号 (H28.10.7 ~H28.11.30 )
- 36) 【国天】アカコッコの現状変更(一時捕獲、採血等)申請 (H28.10.19 進達)  
 申請者(日付): 財団法人山階鳥類研究所 理事長 壬生基博 (H28.8.29 )  
 許可(期間): 平成28年11月18日 付け 28受庁財第4号の1367 ( 8 ~H29.12.31 )

- 37) 【国天】久米島町奥武島の畳石の現状変更(境界標設置)申請 (H28.10.26 許可)  
 申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H28.10.14)  
 許可(期間):平成28年10月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第59号 (H28.10.26 ~ H29.2.28 )
- 38) 【県天】万座毛石灰岩植物群落、嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物試料採取)申請 (H28.10.26 許可)  
 申請者(日付):一般財団法人自然環境研究センター 理事長 大塚柳太郎 (H28.10.17)  
 許可(期間):平成28年10月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第60号 (H28.11.1 ~ H29.3.31 )
- 39) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養)申請 (H28.11.16 許可)  
 申請者(日付):恩納村立 恩納小中学校 校長 島袋盛吉 (H28.10.18)  
 許可(期間):平成28年11月16日 付け 沖縄県教育委員会指令第65号 (H28.11.16 ~ 個体滅失 )
- 40) 【県天】クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲、標本採取)申請 (H28.11.2 許可)  
 申請者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 戸田守 (H28.10.26)  
 許可(期間):平成28年11月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第64号 (H28.11.2 ~ H30.11.1 )
- 41) 【県天】イボイモリ、クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.11.21 許可)  
 申請者(日付):沖縄総合事務局 北部国道事務所長 喜舎場正秀 (H28.10.28)  
 許可(期間):平成28年11月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第67号 (H28.11.21 ~ H31.11.20 )
- 42) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.11.21 進達)  
 申請者(日付):株式会社ユーズリゾート沖縄 代表取締役 雀部優 (H28.11.4)  
 許可(期間):平成28年12月9日 付け 28受庁財第4号の1515 (H28.12.9 ~ H31.12.8 )
- 43) 【国特】カンムリワシの現状変更(一時捕獲及び発信器装着)申請 (H28.11.21 許可)  
 申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H28.10.31)  
 許可(期間):平成28年11月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第66号 (H28.12.1 ~ H30.3.31 )
- 44) 【国天】船浦のニッパヤシ群落の現状変更(モニタリング調査)協議 (H28.11.17 進達)  
 協議者(日付):沖縄森林管理署長 清水俊二 (H28.11.7)  
 同意(期間):平成28年12月9日 付け 28受庁財第4号の1514 (H28.12.9 ~ H32.3.31 )
- 45) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(植物採取)協議 (H28.11.30 進達)  
 協議者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H28.10.27)  
 同意(期間):平成29年1月27日 付け 28受庁財第4号の1552 (H29.1.27 ~ H29.3.30 )
- 46) 【国天】ヤンバルクイナ、カラスバト、ケナガネズミの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.12.14 進達)  
 申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社 沖縄事務所 所長 阿川泰之 (H28.11.21)  
 許可(期間):平成29年1月27日 付け 28受庁財第4号の1613 (H29.1.27 ~ H29.3.31 )
- 47) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.12.14 進達)  
 申請者(日付):沖縄県 南部土木事務所 所長 嶺井秋夫 (H28.11.22)  
 許可(期間):平成29年1月27日 付け 28受庁財第4号の1614 (H29.1.27 ~ H32.1.26 )
- 48) 【県天】クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.12.14 許可)  
 申請者(日付):沖縄県 南部土木事務所 所長 嶺井秋夫 (H28.11.22)  
 許可(期間):平成28年12月14日 付け 沖縄県教育委員会指令第71号 (H28.12.14 ~ H31.12.13 )
- 49) 【県天】イボイモリの現状変更(組織採取等)申請 (H28.12.13 許可)  
 申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H28.12.7)  
 許可(期間):平成28年12月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第70号 (H28.12.13 ~ H31.3.31 )
- 50) 【国天】オカヤドカリ、キンノウエトカゲの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.12.14 進達)  
 申請者(日付):株式会社RYUSEI HOLDINGS 澁田隆一 (H28.12.5)  
 許可(期間):平成29年1月27日 付け 28受庁財第4号の1615 (H29.1.27 ~ H31.1.26 )
- 51) 【県天】キクザトサワヘビの現状変更(一時捕獲)申請 (H28.12.15 許可)  
 申請者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H28.12.1)  
 許可(期間):平成28年12月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第72号 (H28.12.15 ~ H31.3.31 )
- 52) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.1.17 進達)  
 申請者(日付):株式会社仲本工業 代表取締役 仲本豊 (H28.12.27)  
 許可(期間):平成29年2月10日 付け 28受庁財第4号の1814 (H29.2.10 ~ H31.3.31 )
- 53) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.1.26 許可)  
 申請者(日付):株式会社沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H28.12.28)  
 許可(期間):平成29年1月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第3号 (H29.1.26 ~ H29.2.28 )
- 54) 【県天】イボイモリ、クロイワカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.1.26 許可)  
 申請者(日付):沖縄総合事務局 北部国道事務所長 喜舎場正秀 (H29.1.5)  
 許可(期間):平成29年1月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第4号 (H29.1.26 ~ H32.1.25 )

- 55) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H29.1.20 進達)  
 申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H29.1.19 )  
 許可(期間):平成29年2月10日 付け 28受庁財第4号の1815 (H29.2.10 ~H29.9.30 )
- 56) 【国天】オカヤドカリの現状変更(試料採取及び一時捕獲)申請 (H29.2.13 進達)  
 申請者(日付):NPO法人 生物多様性研究・教育プロジェクト 三枝誠行 (H29.1.10 )  
 許可(期間):平成29年3月10日 付け 28受庁財第4号の1957 (H29.4.14 ~H31.5.10 )
- 57) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査及び捕獲)期間変更 (H29.1.27 進達)  
 変更者(日付):東京海洋大学 浜崎活幸 (H29.1.23 )  
 承認(期間):平成29年3月9日 付け 28受庁財第4号の1838 (H26.3.18 ~H30.3.31 )
- 58) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.2.13 進達)  
 申請者(日付):沖縄県知事職務代理者 副知事 浦崎唯昭 (H29.2.2 )  
 許可(期間):平成29年3月10日 付け 28受庁財第4号の1958 (H29.4.1 ~H30.3.31 )
- 59) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(仮設レーダー設置)申請 (H29.2.10 許可)  
 申請者(日付):国土交通省 大阪航空局長 干山善幸 (H29.2.2 )  
 許可(期間):平成29年2月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (H28.12.1 ~H30.9.30 )
- 60) 【県天】指定両生類4種の現状変更(水生生物調査)申請 (H29.2.22 許可)  
 申請者(日付):沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (H29.2.9 )  
 許可(期間):平成29年2月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第8号 (H29.2.22 ~H32.3.31 )
- 61) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.2.24 許可)  
 申請者(日付):株式会社 仲本工業 代表取締役 仲本豊 (H29.2.8 )  
 許可(期間):平成29年2月24日 付け 沖縄県教育委員会指令第9号 (H29.2.24 ~H31.3.31 )
- 62) 【国天】オカヤドカリ、キシノウエトカゲの現状変更(イタチ捕獲機設置)申請 (H29.2.14 進達)  
 申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社 沖縄事務所 河内紀浩 (H29.2.3 )  
 許可(期間):平成29年3月10日 付け 28受庁財第4号の1985 (H29.3.10 ~H30.3.31 )
- 63) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.3.10 許可)  
 申請者(日付):名護市長 稲嶺進 (H29.3.3 )  
 許可(期間):平成29年3月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (H29.3.10 ~H30.3.30 )
- 64) 【県天】比地の小玉森の植物群落の現状変更(配水池撤去)申請 (H29.3.21 許可)  
 申請者(日付):国頭村長 宮城久和 (H29.2.28 )  
 許可(期間):平成29年3月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (H29.4.20 ~H29.7.28 )
- 65) 【国特】ノグチゲラ他17件の現状変更(試料採取及び発信器等装着)協議 (H29.3.17 進達)  
 協議者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H29.3.8 )  
 同意(期間):平成29年4月21日 付け 28受庁財第4号の2111 (H29.4.1 ~H32.3.31 )
- 66) 【国特】ノグチゲラ他9件の現状変更(外来種捕獲器設置)申請 (H29.3.21 進達)  
 申請者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H29.3.15 )  
 同意(期間):平成29年4月21日 付け 28受庁財第4号の2218 (H29.4.21 ~H32.3.31 )
- 67) 【県天】イボイモリ他5件の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H29.3.21 許可)  
 申請者(日付):環境省 那覇自然環境事務所長 (H29.3.15 )  
 許可(期間):平成29年3月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (H29.3.21 ~H32.3.31 )
- 68) 【県天】イボイモリ、クロイワトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H29.3.22 許可)  
 申請者(日付):株式会社沖縄環境地域コンサルタント 庄島興一 (H29.3.14 )  
 許可(期間):平成29年3月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (H29.4.1 ~H29.12.31 )
- 69) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(昆虫採取)期間変更 (H29.3.31 進達)  
 変更者(日付):沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ピーター・グルース (H29.3.8 )  
 承認(期間):平成29年3月31日 付け 28受庁財第4号の2246 (H28.3.11 ~H32.10.31 )
- 70) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(昆虫トラップ設置)申請 (H29.3.31 許可)  
 申請者(日付):沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ピーター・グルース (H29.3.17 )  
 許可(期間):平成29年3月31日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 (H29.4.1 ~H32.10.31 )



## 5. 埋蔵文化財

### (1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下 段）	回答内容（所在文化財）
1	本部町	店舗	(株)ふくぎや、(株)クロトン 本部町教育委員会	備瀬貝塚

### (2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	奥第三貝塚	国頭村	個人	住宅	慎重工事
2	舟蔵第二貝塚	石垣市	ルートインジャパン株式会社	その他建物	発掘調査
3	大見武古島遺跡	与那原町	沖縄電力株式会社 電力本部 電力流通 部 中央電力所長	電気	発掘調査
4	屋富祖村跡	八重瀬町	個人	住宅	工事立会
5	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
6	二重兼久原遺跡	読谷村	株式会社沖縄うみの園	観光開発	発掘調査
7	大久保原遺跡	読谷村	株式会社沖縄うみの園	観光開発	発掘調査
8	島ノ前原遺跡	与那原町	個人	住宅	工事立会
9	新城上殿遺跡ほか6遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他の開発	発掘調査
10	島ノ前原遺跡	与那原町	個人	住宅	工事立会
11	伊江グスク	伊江村	伊江村長	道路	工事立会
12	溝原貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
13	新垣グスク、第89連隊終焉の地	糸満市	個人	その他開発	工事立会
14	宜野湾シリガーラ流域古墓群ほか2 遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他建物	慎重工事2 工事立会1
15	下大木原遺跡	読谷村	沖縄総合事務局 北部国道事務所 所長	道路	発掘調査
16	宇茂佐古島遺跡	名護市	株式会社シャングリラ	住宅	慎重工事
17	クマザ貝塚	宮古島市	株式会社日建ハウジング	その他建物	慎重工事
18	大堂原東遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
19	辺戸名兼久遺物散布地	国頭村	個人	住宅	工事立会
20	ウブドゥマーリヤ特攻艇秘匿壕群	宮古島市	株式会社大米建設	その他の開発	慎重工事
21	根堂原遺物散布地	南城市	個人	その他の開発	工事立会
22	与那覇グスク	南風原町	内閣府 沖縄総合事務局 南部国道 事務所所長	道路	発掘調査
23	翁長原遺物散布地（C地点）	豊見城市	有限会社沖島産業	住宅	工事立会
24	与那嶺原遺物散布地	南城市	個人	その他の開発	工事立会
25	根堂原遺物散布地	南城市	個人	その他の開発	慎重工事
26	稲福寺跡遺物散布地	南城市	個人	その他の開発	慎重工事
27	大見武古島遺跡	与那原町	沖縄電力株式会社 電力本部 電力流通 部 中央電力所長	電気	発掘調査
28	名嘉知古島遺跡	豊見城市	個人	その他建物	工事立会
29	保栄茂前番ヌ上原古墓群	豊見城市	有限会社 大皓設備	その他建物	慎重工事
30	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
31	遠見番所跡	今帰仁村	個人	住宅	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
32	座安若知花原遺物散布地 (C地点)	豊見城市	株式会社 J P コーポレーション	共同住宅	工事立会
33	真喜屋平田遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
34	大堂浜遺物散布地	名護市	国立療養所沖繩愛楽園長	その他建物	工事立会
35	松原部落内遺物散布地	宮古島市	個人	その他建物	発掘調査
36	中城御殿跡ほか3遺跡	那覇市	沖縄県知事	学校	発掘調査
37	喜友名後原丘陵古墓群	宜野湾市	個人	その他の開発	発掘調査
38	喜友名貝塚	宜野湾市	個人	住宅	発掘調査
39	豊見城グスクほか3遺跡	豊見城市	豊見城市長	公園	工事立会
40	国仲元島遺跡	宮古島市	内閣府 沖縄総合事務局 宮古伊良部農業水利事業所長	農業関連	発掘調査
41	翁長原遺物散布地 (A地点)	豊見城市	個人	住宅	工事立会
42	喜友名山川原第九遺跡ほか2遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他の開発	発掘調査
43	渡喜仁浜原貝塚	今帰仁村	株式会社 CROSS RESORT	観光開発	発掘調査
44	兼久中原遺跡、野国作之上原遺跡	嘉手納町	在沖米空軍 第718施設中隊 環境保全課長	その他の開発	発掘調査
45	野嵩上後原古墓群	宜野湾市	個人	その他の開発	発掘調査
46	翁長原遺物散布地 (B地点)	豊見城市	個人	住宅	工事立会
47	座安若知花原遺物散布地 (B地点)	豊見城市	有限会社赤嶺光一材木	住宅	工事立会
48	座安若知花原遺物散布地 (B地点)	豊見城市	有限会社赤嶺光一材木	住宅	工事立会
49	瀬長グスク	豊見城市	WBFリゾート沖縄株式会社	その他の開発	工事立会
50	名嘉地原遺物散布地	豊見城市	個人	その他の開発	慎重工事
51	喜瀬武原の炭焼窯群	恩納村	内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所長	その他の開発	発掘調査
52	西村跡	那覇市	個人	その他の建物	発掘調査
53	安和貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
54	アラフ遺跡	宮古島市	宮古島市長	その他建物	発掘調査
55	西村跡	那覇市	個人	その他建物	工事立会
56	大見武古島遺跡、平良原遺物散布地	与那原町	内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所長	道路	慎重工事 1 発掘調査 1
57	首里内金城村跡	那覇市	株式会社デザインスタジオ琉球楽団	住宅	発掘調査
58	久志貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
59	浜崎貝塚	伊江村	伊江村長	公園造成	工事立会

### (3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	発 見 地	遺跡名	届出・通知者	原 因	措置状況
1	宮古島市伊良部字国仲美里397-1、397-36	国仲美里の壕	沖縄総合事務局 宮古伊良部農業水利事業所長	その他	発掘調査
2	宮古島市平良字西原1037-10	西原美里の古墓	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
3	宮古島市平良字西原1037-3	西原美里の井戸	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
4	宮古島市城辺字新城西皆粉地	西皆粉地の古墓	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
5	宮古島市下地嘉手苺704	イリノソコの壕	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
6	宮古島市伊良部字国仲294-1、299、309-3	国仲砂川の壕	宮古島市長	その他	発掘調査
7	宮古島市城辺字長間巢玉川1303	長間巢玉川の避難壕	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
8	宮古島市城辺字新城大牧73-1	第二大牧古墓群	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
9	宮古島市城辺字新城西皆粉地260-321、319	第二西皆粉地の古墓群	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
10	西原町字我謝464	我謝上ノ川古墓群	個人	土木工事	発掘調査
11	宮古島市城辺町字長間751-2	長間西更竹の岩陰墓	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
12	宮古島市城辺町字西里添西底原674-2	西底原・東底原の古墓群	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
13	那覇市字宇栄原一丁目1291、1300-4	宇栄原一丁目の壕	個人	土木工事	慎重工事
14	宮古島市城辺字長間巢玉川1303	長間巢玉川の壕	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
15	宮古島市城辺字長間巢玉川1290-1	長間巢玉川の古墓	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
16	宮古島市城辺西里添538-43	西底原第2古墓	宮古農林水産振興センター所長	その他	発掘調査
17	宮古島市下地字嘉手苜624-1、624-6	嘉手苜アガリカタの古墓群	宮古島市長	土木工事	発掘調査
18	北谷町字浜川117-54	アーマンチュガマ	個人	土木工事	発掘調査
19	北谷町字浜川117-5	アーマンチュガマ	個人	土木工事	発掘調査

#### (4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	(場所) 与那原町字与那原平良原2793周辺	H28. 3. 3	与那原町教育委員会教育長	沖縄総合事務局 局長	瓦片、陶磁器、土器、石器、自然遺物等(3箱)	与那原町教委
2	(場所) 与那原町字与那原猫瀬原2807の1番地ほか	H28. 3. 3	与那原町教育委員会教育長	沖縄電力株式会社	瓦片、陶磁器、土器、石器、自然遺物等(1箱)	与那原町教委
3	安和与那川原遺跡	H28. 2. 29	名護市教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、石器、貝製品等(160箱)	名護市教委
4	浦添城跡	H28. 3. 9	浦添市教育委員会教育長	浦添市長、沖縄県知事	陶磁器、瓦等(2箱)	浦添市教委
5	前田・経塚近世墓群〔前原地区〕	H27. 8. 31	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器(20基)、陶磁器、金属製品、埋葬人骨等(9箱)	浦添市教委
6	屋比久グスク及び周辺遺物散布地	H28. 3. 17	南城市教育委員会教育長	個人	土器、カムイヤギ、青磁、白磁、沖縄産陶器等(16箱)	浦添市教委
7	知念城跡	H28. 3. 25	南城市教育委員会教育長	南城市市長	瓦片、陶磁器、土器、自然遺物等(17箱)	南城市教委
8	比屋根遺跡	H28. 2. 12	沖縄市教育委員会教育長	沖縄市長	土器片、陶磁器片、貝等(25箱)	沖縄市教委
9	具志川城跡	H28. 3. 28	久米島町教育委員会教育長	久米島町長	中国産陶磁器、陶器片(43点)、自然遺物(20点)	久米島町教委
10	(場所) 恩納村字瀬良垣1133番地周辺	H28. 3. 17	恩納村教育委員会教育長	東急不動産株式会社	陶磁器類、土器、自然遺物(7箱)	恩納村教委
11	与那原駅舎	H28. 3. 18	与那原町教育委員会教育長	与那原町長	瓦片、陶磁器、自然遺物等(1箱)	与那原町教委
12	中城城跡	H28. 3. 31	中城村教育委員会教育長	中城村長	陶磁器、土器、瓦、金属製品、ガラス製品、石器、獣魚骨、貝殻遺骸(27箱)	中城村教委
13	今帰仁城跡附シイナ城跡	H28. 3. 31	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、金属製品、石製品、自然遺物(5箱)	今帰仁村教委
14	西長浜原遺跡	H27. 12. 4	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	土器、石器、石製品、骨製品、自然遺物、貝製品(1箱)	今帰仁村教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
15	大川原遺跡	H28. 3. 28	今帰仁村教育委員会教育長	個人	陶磁器、金属製品、石製品、自然遺物 {1箱}	今帰仁村教委
16	赤道シキロー流域古墓群ほか	H28. 1. 22	宜野湾市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶磁器類、キセル、簪、釘、銭貨等{20箱}	宜野湾市教委
17	下大木原遺跡	H28. 3. 31	読谷村教育委員会教育長	沖縄総合事務局北部国道事務所長	土器、石器{1箱}	読谷村教委
18	片江原貝塚A地点	H28. 3. 31	読谷村教育委員会教育長	株式会社沖縄うみの園	土器、石器、貝製品、中国産陶磁器 {4箱}	読谷村教委
19	トゥマイグシク	H28. 3. 31	読谷村教育委員会教育長	読谷村長	グスク土器、中国製磁器、沖縄製陶器、銭貨、現代ガラス片 {1箱}	読谷村教委
20	今帰仁ムラ跡	H28. 4. 15	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、金属製品、石製品、自然遺物 {5箱}	今帰仁村教委
21	(場所) 名護市辺野古450、459、559-16	H27. 12. 28	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	石器{3点}、土器{1点}	名護市教委
22	(場所) 名護市辺野古地内 (キャンプ・シュワブ内)	H28. 3. 31	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	貝製品{3点}、陶器{2点}、磁器{1点}、石器{1点}	名護市教委
23	白保竿根田原洞穴遺跡	H28. 7. 8	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	石材、人骨、獣骨、{1箱}	県立埋蔵文化財センター
24	大嶺村跡	H28. 7. 20	沖縄県教育委員会教育長	那覇空港事務所長	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、木製品、獣魚骨、貝、石材、ガラス製品 {120箱}	県立埋蔵文化財センター
25	(場所) 石垣市宇新川舟蔵2471-1、2471-7	H28. 8. 31	石垣市教育委員会教育長	ルートインジャパン株式会社	土器片、石器、銭貨、自然遺物{35箱}	石垣市教委
26	浦底遺跡	H28. 8. 17	沖縄国際大学教授上原静	宮古島市長	土器片{4点}、貝斧未製品{1点}、貝小玉{2点}、自然遺物{9箱}	沖縄国際大学
27	(場所) 与那原町字上与那原平良原279-3番地	H28. 9. 14	与那原町教育委員会教育長	沖縄総合事務局南部国道事務所	瓦片、陶磁器、土器、石器、自然遺物等{5箱}	与那原町教委
28	西原美里の古墓	H28. 9. 23	宮古島市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器、キセル、銭貨、人骨等 {8箱}	宮古島市教委
29	国仲砂川の壕	H28. 8. 31	宮古島市教育委員会教育長	個人	金属製品{1箱}	宮古島市教委
30	円覚寺跡	H28. 9. 23	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器、瓦、埴、金属製品、銭貨等 {12箱}	県立埋蔵文化財センター
31	大堂浜遺物散布地	H28. 10. 13	名護市教育委員会教育長	国立療養所沖縄愛楽園	土器{2点}、陶器{7点}、貝{1点}	名護市教委
32	嘉数比屋良川流域古墓群	H19. 12. 16	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	宮古市土器{1基}	宜野湾市教委
33	大謝名久永地原第一古墓群	H26. 3. 28	宜野湾市教育委員会教育長	個人	蔵骨器片、沖縄産等器片、本土産磁器片など{7箱}	宜野湾市教委
34	野嵩上後原古墓群	H22. 8. 20	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	蔵骨器{12基}	宜野湾市教委
35	喜友名後原丘陵古墓群	H22. 9. 29	宜野湾市教育委員会教育長	個人	蔵骨器{3基}、沖縄産陶器{4点}	宜野湾市教委
36	喜友名後原丘陵古墓群	H28. 11. 9	宜野湾市教育委員会教育長	個人	厨子、陶磁器類、簪、釘、銭貨等 {7箱}	宜野湾市教委
37	中城城跡	H28. 11. 11	中城村教育委員会教育長	中城村長	陶磁器、土器、鉄製品、貝殻遺骸{10箱}	中城村教委
38	真珠道跡	H28. 10. 31	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、石製品、ガラス製品、人骨、獣魚骨、貝類など{15箱}	県立埋蔵文化財センター
39	中城御殿跡	H28. 11. 11	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、石製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類など{9箱}	県立埋蔵文化財センター
40	喜友名下原第一遺跡ほか4遺跡	H28. 12. 8	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、石材、陶磁器など{4箱}	県立埋蔵文化財センター

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
41	長間西更竹の岩陰墓	H28. 10. 31	宮古島市教育委員会 教育長	個人	沖縄産陶器、簪、キセル、銭貨、人骨など {6箱}	宮古島市教委
42	喜友名貝塚、喜友名グ スク	H28. 12. 28	宜野湾市教育委員会 教育長	個人	陶磁器、石器、銭貨、獣骨、貝類{1箱}	宜野湾市教委
43	喜友名山川原丘陵古墓 群、喜友名グスク等	H28. 12. 28	宜野湾市教育委員会 教育長	沖縄防衛局長	土器、陶磁器等{1箱}	宜野湾市教委
44	前田・経塚近世古墓群[前 田黒島地区、前田前原地 区、前田西前田原地区]	H29. 2. 9	浦添市教育委員会教 育長	浦添市長	蔵骨器{25点}、蔵骨器片、副葬品、埋葬 人骨など{5箱}	浦添市教委
45	浦添城跡	H28. 12. 26	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長、沖縄 県知事	陶磁器、瓦等{2箱}	浦添市教委
46	思原遺跡	H28. 12. 2	名護市教育委員会教 育長	沖縄防衛局長	土器{5点}、陶器{4点}、磁器{1点}、有 孔石製品{1点}	名護市教委
47	沖縄県営鉄道那覇駅跡	H28. 4. 4	那覇市教育委員会 教育長	旭橋都市再開発 株式会社	陶磁器破片・金属製品等 {16箱}	那覇市教委
48	首里平良橋周辺遺跡	H28. 6. 30	那覇市教育委員会 教育長	沖縄県知事	沖縄産陶器・本土産磁器等 {60 箱}	那覇市教委
49	首里旧金城村跡	H28. 7. 1	那覇市教育委員会 教育長	個人	沖縄産瓦等 {土嚢袋80袋}	那覇市教委
50	宇栄原1丁目の壕	H28. 8. 30	那覇市教育委員会 教育長	個人	鉄製品 {1箱}	那覇市教委
51	壺屋古窯群	H28. 9. 30	那覇市教育委員会 教育長	個人	陶磁器破片等 {2箱}	那覇市教委
52	西村跡	H29. 1. 6	那覇市教育委員会 教育長	個人	中国産磁器・沖縄産陶器等 {1 箱}	那覇市教委
53	末吉村跡	H29. 1. 31	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	陶磁器破片等 {23箱}	那覇市教委
54	首里旧金城村跡	H29. 1. 31	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	沖縄産陶器・外国産陶磁器等 {14 箱}	那覇市教委
55	ナイクブ古墓群	H29. 1. 31	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	蔵骨器及び陶磁器破片等 {39箱}	那覇市教委
56	首里内金城村跡	H29. 3. 25	那覇市教育委員会 教育長	(株) デザイン スタジオ琉球楽 団	土器・沖縄産陶器・外国産陶磁器 等 {3箱}	那覇市教委

### (5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	前田・経塚近世墓群	H27. 12. 28	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	蔵骨器7基 蔵骨器片、副葬品、埋葬人 骨など{13箱}	浦添市教委
2	浦添城跡	H28. 3. 9	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	陶磁器、瓦など{2箱}	浦添市教委
3	中城城跡	H28. 3. 31	中城村教育委員会 教育長	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、沖縄産 陶磁器、土器、瓦、金属製品、ガラス製 品、石器、獣魚骨、貝殻遺骸 {27箱}	中城村教委
4	浦添城跡	H26. 3. 28	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	瓦、陶磁器、土器、金属製品、獣魚骨な ど{15箱}	浦添市教委

### (6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市町村	調査主体・調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な時期・性 格及び遺構等
1	浦底遺跡	宮古島市	沖縄国際大学 教授 上原静	学術研究	無土器期・集 落跡、貝塚
2	網取遺跡	竹富町	東海大学 教授 北條芳隆	学術研究	近世・集落跡
3	底川村跡	南城市	城西大学経営学部 助教 石井龍太	学術研究	近世～現代・ 集落跡

## (7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	赤間の炭焼窯跡	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	道路	近代・生産遺跡
2	御宿井遺跡	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	土地造成	中世、近世・グスク跡か
3	西長浜原遺跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	観光開発	縄文・集落
4	新城上殿遺跡ほか2件	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	支障除去	縄文、弥生、中世、近世・集落、生産遺跡
5	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	沖縄県立埋蔵文化財センター	仲座久宜	保存目的の範囲確認調査	旧石器、中世、下田原期・洞穴遺跡
6	思原長佐久遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路	弥生・散布地
7	与那覇グスク	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	道路	中世、近世・城館跡
8	大見武古島遺跡	与那原町	与那原町教育委員会	宮城明恵	道路、その他開発	近世・集落跡
9	西原美里の古墓、西原美里の井戸	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	農業関連	近世・墓、井戸
10	前田・経塚近世墓群(前田黒島原地区)	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧長順	区画整理	近世・墓
11	国仲砂川の壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	農業関連	太平洋戦争時・戦争遺跡
12	イリノソコの壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	農業関連	太平洋戦争時・戦争遺跡
13	我謝上ノ川古墓群	西原町	西原町教育委員会	山田浩久	農業関連	近世～近代墓
14	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	安斎真知子	道路	近世交通遺跡
15	喜友名後原丘陵古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱健起	その他開発	近世・墓
16	大堂浜遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	松原彰子	その他の建物	縄文～平安散布地
17	長間西更竹の岩陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝春陽	農業関連	近世・墓
18	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	上地克也	道路	縄文・集落跡
19	真珠道跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	宮城淳一	道路	中世～近世交通遺跡
20	中城御殿跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	宮城淳一	保存目的の範囲確認調査	中世～近世その他の遺跡
21	二重兼久原貝塚	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	観光開発	縄文～古墳貝塚
22	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	内間 靖	公園造成	近世・墓
23	恩原石器出土地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路	不明・散布地
24	恩原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路	弥生・散布地
25	大久保原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	観光開発	縄文～古墳貝塚
26	喜友名貝塚、喜友名グスク	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	住宅	弥生～中世・貝塚
27	ヤニバマ遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路	縄文～弥生・散布地
28	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	吉田健太	公園造成	近世・集落跡
29	野嵩上後原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	宅地造成	近世・墓
30	新城大道原第二遺跡 新城大道原第三遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	来間千明	その他開発	中世～近代・集落跡、生産遺跡

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市 町 村	調 査 主 体	調 査 担 当 者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
31	赤間の炭焼窯群	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	その他開発	近世～近代 生産遺跡
32	首里内金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	安斎真知子	住宅	近世～近代 集落跡
33	神山古集落	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	瀬戸哲也	その他開発	グスク～近代 集落
34	与那覇グスク	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	電気	中世～近世・城館跡(グスク等)
35	根謝銘グスク	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	保存目的の範囲確認調査	中世・城館跡(グスク等)
36	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市教育委員会	宮城良真	観光開発	中世・城館跡(グスク等)
37	久志貝塚	名護市	名護市教育委員会	松原彰子	住宅	奈良、平安、中世(グスク)集落跡
38	アーマンチュガマ	北谷町	北谷町教育委員会	山城安生	宅地造成	中世～近世・墓
39	沖縄県営鉄道与那原駅	与那原町	与那原町教育委員会	宮城明恵	その他開発(新規発見)	近代・交通遺跡
40	船蔵第二貝塚	石垣市	石垣市教育委員会	下地傑	観光開発(新規発見)	中世～近世・貝塚
41	上原ノザシ貝塚	竹富町	竹富町教育委員会	仲盛敦	自然崩壊(新規発見)	無土器期・貝塚
42	長崎兼久遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路(新規発見)	近世・散布地
43	国仲元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	農業関連(範囲変更等)	中世(グスク)・集落跡
44	兼久中原遺跡	嘉手納町	嘉手納町教育委員会	知念純	その他開(新規発見)	縄文・近世・集落跡
45	野国作之上原遺跡	嘉手納町	嘉手納町教育委員会	知念純	その他開発(新規発見)	縄文・近世・集落跡
46	西村跡	那覇市	那覇市教育委員会	樋口麻子	住宅(新規発見)	中世～近世・集落跡
47	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路(範囲変更等)	近現代・戦争遺跡
48	荷川取川原の壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	観光開発(新規発見)	太平洋戦争時・戦争遺跡
49	荷川取川原の銃眼群	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	観光開発(新規発見)	太平洋戦争時・戦争遺跡
50	上地番所前遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	住宅(新規発見)	中世～近世・集落跡

### (8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「古文書歴史資料調査基礎課程」	平成28年6月20日～ 6月24日	外間 政明	那覇市市民文化 部文化財課
2	文化財担当者専門研修 「人骨・動物骨踏査課程」	平成28年7月25日～ 7月29日	縄田 雅重	沖縄市教育委 員会
3	文化財担当者専門研修 「文化的景観調査計画課程」	平成28年9月12日～ 9月16日	神村 智子	教育庁文化財 課
4	文化財担当者専門研修 「保存科学Ⅰ(金属製遺物)課程」	平成28年10月11日～ 10月19日	宮城 明恵	与那原町教育 委員会
5	文化財担当者専門研修 「報告書作成課程」	平成28年12月8日～ 12月16日	横山 幸平	南城市教育委 員会

### (9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出 願 種 類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	西原町	7 1 琉政出試第25193号	石油・可燃性天然ガス	試掘	該当なし	該当なし
2	うるま市	2 8 沖縄出探般第4号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物

No.	出願地	出願番号	鉱種名	出願種類	回答内容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
3	糸満市	28沖経出採般第6号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
4	西原町	28沖経出試般第4号	石油・可燃性天然ガス	採掘	該当なし	該当なし

### (10) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧（文化財保護担当部局予算計上）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

項目No.	遺跡名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
1	喜友名後原丘陵古墓群・喜友名貝塚・野嵩上後原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	発掘調査 資料整理	93,015	国80、市20
2	首里旧金城村跡 ほか2遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	発掘調査 資料整理	5,364	国80、市20
3	イラフ道ほか	国頭村	国頭村教育委員会	確認調査 資料整理	10,555	国80、村20
4	根謝銘城	大宜味村	大宜味村教育委員会	確認調査 資料整理	210	村100
5	渡喜仁立石原古墓	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	資料整理	496	国80、村20
6	具志原貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	資料整理	4,205	国80、県4.1、 村15.9
7	喜石原古墓群	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	2,210	国80、県4.1、 村15.9
8	御茶屋御殿跡	那覇市	那覇市教育委員会	資料整理	8,438	国80、市20
9	南山グスク ほか1遺跡	糸満市	糸満市教育委員会	資料整理	6,202	国80、県4.1、 市15.9
10	忠導氏仲宗根家	宮古島市	宮古島市教育委員会	確認調査	190	国80、市20
11	アラフ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	確認調査	120	国80、市20
12	オランダ商船遭難の地(高田海岸)	多良間村	多良間村教育委員会	確認調査 資料整理	2,967	国80、県4.1、 村15.9
13	喜友名下原第一遺跡 ほか4遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	60,941	国80、県20
14	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	29,844	国80、県20
15	宜名真沖海底遺跡 ほか142遺跡	県内全域	県立埋蔵文化財センター	資料整理	3,692	国80、県20
16	福山共同墓地	宜野座村	宜野座村教育委員会	確認調査	73	国80、県4.1、 村15.9
17	藪地洞穴遺跡	うるま市	うるま市教育委員会	確認調査 資料整理	3,765	国80、県4.1、 市15.9
18	今帰仁城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	資料整理	7,400	国80、県4.1、 村15.9
19	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	確認調査 資料整理	11,166	国80、県4.1、 市15.9
20	中城城跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	8,247	国80、県4.1、 村15.9
21	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	確認調査 資料整理	15,086	国80、県4.1、 市15.9
22	具志川城跡	糸満市	糸満市教育委員会	資料整理	3,228	国80、県4.1、 市15.9
23	具志川城跡	久米島町	久米島博物館	確認調査	1,091	国80、県4.1、 町15.9
24	円覚寺跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	確認調査	4,291	国80、県20
25	赤間の炭焼窯群	恩納村	恩納村教育委員会	確認調査	675	村100
26	喜瀬武原の炭焼窯群	恩納村	恩納村教育委員会	確認調査	100	村100
27	我謝上ノ川古墓群	西原町	西原町教育委員会	確認調査	528	町100

### (11) 事業者（原因者）負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

項目No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	億首川流域古墓群	金武町	金武町教育委員会	国道バイパス建設事業	資料整理	7,588	沖縄総合事務局
2	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	27,154	国土交通省、 那覇市
3	フクヅ山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路	資料整理	11,633	国土交通省
4	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	那覇市教育委員会	空港	資料整理	5,220	内閣府



項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費 (千円)	主な財源
5	首里平良橋周辺遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	河川	資料整理	6,889	国土交通省
6	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路	発掘調査 資料整理	36,292	国土交通省
7	首里当蔵旧水路	那覇市	那覇市教育委員会	道路	資料整理	3,004	国土交通省
8	御細工所跡	那覇市	那覇市教育委員会	学校建設	資料整理	10,586	内閣府
9	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	河川改修	資料整理	26,343	沖縄県
10	下袋原貝塚	宜野座村	宜野座村教育委員会	結婚式場の建設	資料整理	5,645	事業者
11	ナガラ原第三貝塚 ほか2遺跡	伊江村	伊江村教育委員会	浸透池等の建設	資料整理	8,672	沖縄県
12	真謝カヤ毛原遺跡B地点 (仮称)	伊江村	在沖縄米海兵隊	訓練施設の改修	発掘調査	0	米軍
13	二重兼久原貝塚	読谷村	読谷村教育委員会	観光宿泊施設の建設	発掘調査	10,367	事業者
14	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	国道58号読谷道路建設	発掘調査	1,645	沖縄総合事務局
15	平安山原C遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	桑江伊平土地区画整理事業	資料整理	34,849	事業者
16	伊礼原D遺跡 ほか1遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	桑江伊平地区原状回復事業	資料整理	28,389	事業者
17	新城上殿遺跡 ほか2遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	支障除去	発掘調査	171,011	沖縄防衛局
18	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	土地区画整理	発掘調査 資料整理	30,010	浦添市
19	城間東空寿古墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	資料整理	3,333	沖縄県
20	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	21,849	那覇市
21	久茂地村跡	那覇市	那覇市教育委員会	その他建物	発掘調査	30,200	那覇市
22	豊見城西原遺跡	豊見城市	豊見城市教育委員会	スポーツ施設	発掘調査 資料整理	23,591	沖縄県
23	与那覇グスク	南風原町	南風原町教育委員会	与那原バイパス改良事業	発掘調査	41,516	南部国道事務所
24	国仲元島遺跡・ 国仲美里の塚	宮古島市	宮古島市教育委員会	貯水池整備	発掘調査	3,262	沖縄県
25	西原美里の塚	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	208	沖縄県
26	第2西皆粉地の古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	646	沖縄県
27	第2大牧古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	411	沖縄県
28	長間西更竹の古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	523	沖縄県
29	長間巣玉川の避難壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	267	沖縄県
30	福嶺後古墓群・福嶺後 陣地壕群・山底古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	1,897	沖縄県
31	長間巣玉川の古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	775	沖縄県
32	村越岩陰墓・長中岩陰 墓・イリノソコ岩陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	3,421	沖縄県
33	国仲砂川の塚	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	210	宮古島市
34	舟蔵第二貝塚	石垣市	石垣市教育委員会	ホテル建設	発掘調査 資料整理	2,860	事業者
35	普天間古集落遺跡 ほか1遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	病院建設	資料整理	9,563	沖縄防衛局
36	首里高校内中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	学校建設	資料整理	64,374	沖縄県
37	東村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	宿舍等建設	資料整理	11,751	沖縄県
38	大嶺村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	空港建設	発掘調査 資料整理	62,196	大阪航空局
39	神山村跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	調整池設置	発掘調査	32,620	沖縄防衛局
40	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	公園整備(国営公園)	資料整理	40,156	沖縄総合事務局
41	真珠道跡・ 中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	公園整備(県営公園)	確認調査 資料整理	41,822	沖縄県

## 6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

### （1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。

### （2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| ①平成28年8月19日（沖縄県立芸術大学会議室）  | 第1回 整備委員会 |
| ②平成29年1月20日（沖縄県庁13階第5会議室） | 第2回 //    |

平成28年度は、10月に文化庁にて開催された「史跡等における歴史的建造物の取扱いに関する専門委員会」における三門復元の基本設計等について審議結果を踏まえて整備委員会を開催し、専門委員会での指摘事項について検討を行った。

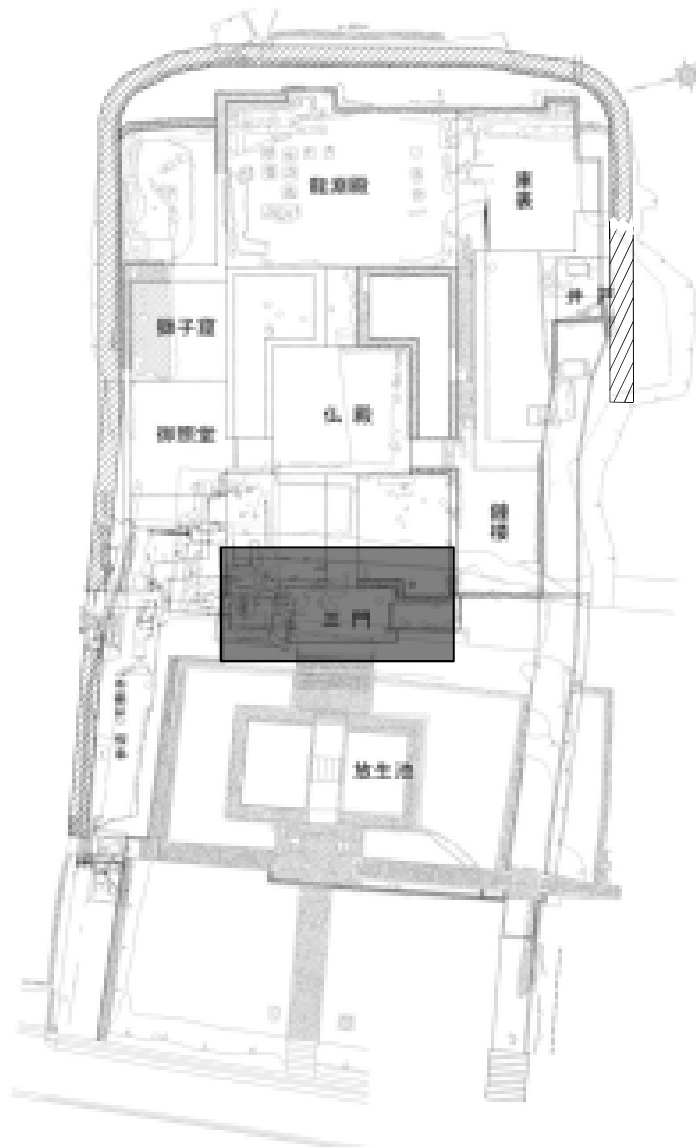
### （3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	三門復元基本設計	1,056	717	工事経費 0	委託料費 712.80 ・測量 712.80
平成28年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料費 13,359.00 ・実施設計 12,852.00 ・磁気探査 507.00

平成28年度 円覚寺跡保存整備事業

沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

平成28年度復元検討箇所	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
--------------	--



## 7. 新たに国の指定になった文化財

### (1) 重要文化財（建造物）の指定

#### ① おおきみそんやくばきゆうちようしゃ 大宜味村役場旧庁舎

種 別：重要文化財（建造物）

所 在 地：沖縄県国頭郡大宜味村字大兼久 157 番 2

構 造 ・ 形 式：鉄筋コンクリート造 一部 2 階建て

及 び 大 き さ 建築面積：182.62 m<sup>2</sup>

所 有 者：大宜味村

建 築 年 代：大正 14 年

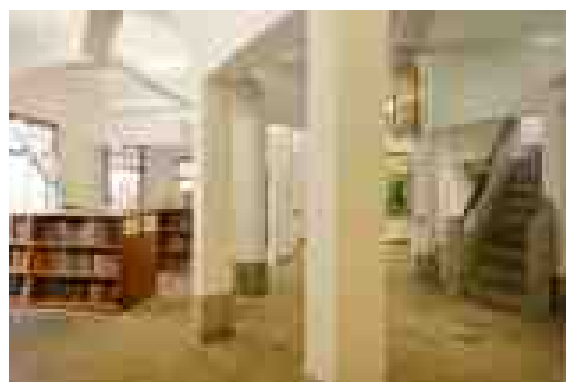
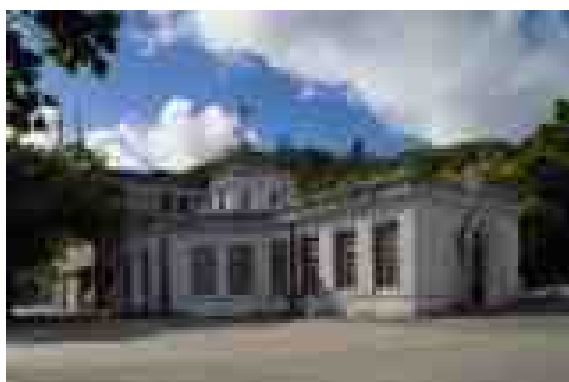
指 定 基 準：歴史的価値の高いもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの

指定をする理由： 大宜味村役場旧庁舎は、海岸から 100m ほど南方の敷地に建つ。国頭郡の建築技師であった清村勉が設計を手がけ、台風や白蟻による被害への対策として当時の沖縄県内では実例の少なかった鉄筋コンクリート造を採用し、大正 14 年に竣工した。平面は十字形と八角形を組み合わせた独特な形式で、中央ホールの周囲に執務空間を配し、ホール上方には八角形平面で塔屋状の 2 階を立ち上げるといふ、役場庁舎としては独創的な構成になる。

大宜味村役場旧庁舎は、沖縄県における最初期の鉄筋コンクリート造建築で、かつ現存最古のものであり、役場庁舎としては全国的にも先駆的な事例である。沖縄県における鉄筋コンクリート造建築の普及発展を理解するうえで、高い価値を有している。

官 報 告 示：平成 29 年 2 月 23 日付け文部科学省告示第 17 号

#### ① 重要文化財（建造物） 大宜味村役場旧庁舎



### (2) 重要文化財（歴史資料）の指定

#### ① 琉球国之図 一卷 間切図 七枚

種 別：重要文化財（歴史資料）

所 在 地：沖縄県（沖縄県立博物館・美術館保管）

所 有 者：沖縄県

指 定 基 準：一政治、経済、社会、文化、科学技術等の我が国の歴史上の各分野における重要な事象に関する遺品のうち学術的価値の特に高いもの

指定をする理由： 琉球国のうち沖縄島及びその周辺の島々を一図に描いた琉球国之図一卷と、琉

琉球国之図中の地域を分割し各一図とした間切図七枚で、ともに琉球王府制作の測量図を編集し、一八世紀末頃に作成された地図と認められる。

琉球国之図は、楮紙を縦使いに三枚継いで料紙とする。沖縄島を中央に配し、東は伊計島、久高島、北は伊平屋島、西は久米島迄を描く。西方海上に離れた久米島、慶良間諸島などは、実際の距離より沖縄島に近づけた位置に描写するとともに、料紙の縦横方向に対し子午線軸を傾けて全体を一図に収める。縮尺は約一二万分の一である。地図は海岸線と各間切境、間切内の山岳境を細墨線にて輪郭する。地図中の記載内容は凡例に明示され、山岳境（山方境）は朱線にて、海上の間切境（海方境）は金泥線に白線を重ねてあらわされる。墨、緑で山、樹木を描く山岳を除き、陸地の過半を占める地域は間切ごとにその地色を鮮やかな六色に塗り分け、間切境を明確にする。道筋を白色、川筋を濃青色にてあらわし、各村は金泥円形、嶽々は金泥三角形、旧城は墨三角形、番所は朱正方形、火立所の場所は朱円形に記号化されて地図上にあらわされることにより、これらの情報を俯瞰的に把握することができる。王府首里城は他の記号に比しひとまわり大きい金泥楕円形とする。文字情報は、各間切内に間切名の頭文字一文字、山岳内に間切名の頭文字一文字に「山」を加えた二文字、さらに見分所の山に「見」と一文字記すのみと極めて少なく、本図の性格を不明瞭にしている。

間切図は、沖縄島中部（旧中山地域）に位置する北谷・越来間切以南の地域につき隣接する二から七の間切を一図にあらわした地図五枚と、同島北端の山岳地域で面積が広大な国頭間切の西部図一枚、国頭間切の西方の洋上に浮かぶ伊平屋島図一枚の計七枚が伝存する。これらは琉球国之図の描写範囲のなかの一部にとどまる。各図ともに方位は琉球国之図と共通し、縮尺は同図の四倍の約三万分の一にあらわされる。料紙は琉球国之図とほぼ同質同大の楮紙で、国頭間切が二紙を継ぐ以外は各一紙とする。描写内容や賦彩についても、各間切地色の配色に至るまでほぼ琉球国之図と同様である。（第二尚氏時代）

官 報 告 示：平成 28 年 8 月 17 日付け文部科学省告示第 116 号

『琉球国之図』 県立図書館所蔵





### (3) 記念物の指定

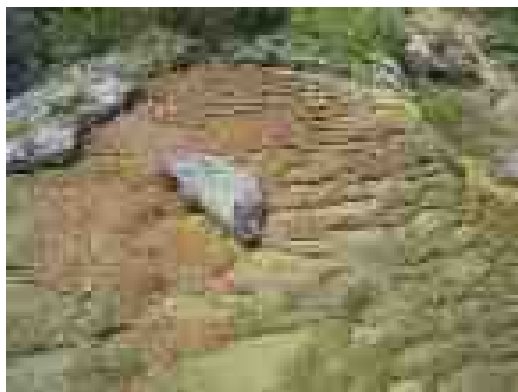
#### ①宮古島保良の石灰華段丘

- 種 別：天然記念物  
所 在 地：沖縄県宮古島市城辺字保良  
所 有 者：宮古島市、国  
指 定 基 準：天然記念物の部 3 (地質鉱物)  
1 岩石、鉱物及び化石の産出状態  
2 地層の整合及び不整合  
9 風化及び侵蝕に関する現象

指定をする理由： 棚田のような形状を有するカルスト地形の一種で、保良宮土地区の崖下部に長さ約70m、幅約30mの範囲で分布する。宮古島の地質構造は、中新世から鮮新世の中国大陸東海岸からもたらされた砂や泥から成る島尻層群を基盤とし、その上位に約10～50mの琉球石灰岩(更新世の珊瑚礁)が不整合で覆っている。また島全体の地形は、東側が高く西～南西側に向かって緩やかに傾斜する。そのため、島の東端の保良地区では、海岸の崖中腹部の島尻層群と琉球石灰岩の境界部が露出する。地下浸透した降雨は、島尻層群の上面を伝って流下し、保良宮土地区の崖部で湧水として流れ出ている。湧水中の炭酸カルシウムは、水分の蒸発とともに石灰沈殿物(石灰華)として析出し、石灰華によって縁取られた小さな池が順次形成されて、崖下部に野外の石灰華段丘として国内最大規模で発達している。日本国内において、鍾乳洞以外の場所で石灰華段丘が形成されることは珍しく、学術上貴重である。

官 報 告 示：平成28年10月3日付け文部科学省告示第142号

### ①天然記念物 宮古島保良の石灰華段丘



棚田状のリムストーンプール



リムストーンプールの縁

### ②北大東島燐鉍山遺跡

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県島尻郡北大東村港

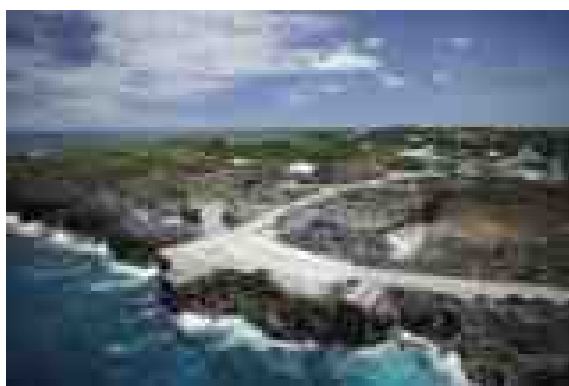
所 有 者：北大東村長他

指 定 基 準：史跡の部六（交通・通信施設、治山治水施設、生産遺跡、その他経済・生産活動に関する遺跡）

指定をする理由： 大正 8 年（1919）から昭和 25 年（1950）まで、主に化学肥料の原料として重要視された燐鉍石を採掘した鉍山遺跡である。沖縄本島の東方約 360 km の太平洋上に位置する北大東島の西端部に所在する。明治 43 年（1910）、玉置半右衛門が採掘を試みたが取り止めた後、大東島の経営権を取得した東洋製糖株式会社が大正 8 年（1919）から採掘を開始した。その後、昭和 2 年（1927）以降は大日本製糖株式会社が経営した。燐鉍石の積み出し量は、大正末期は 1 万トン前後であったが、その後増産し、第二次世界大戦中の昭和 17 年（1942）には最大の 7 万トン台に達した。大戦後、米国軍政府の直轄で採掘されたが、昭和 25 年（1950）に閉山した。現在も、採掘場、日乾堆積場、トロッコ軌道、ドライヤー建屋、燐鉍石貯蔵庫、積荷棧橋、船揚げ場、火薬庫等、燐鉍石の採掘・乾燥・運搬・貯蔵・積出に至る生産施設が大規模に残る。これほど大規模に燐鉍生産施設が残るのは北大東島のみであり、唯一国内に現存するものとして貴重である。我が国近代農業を支えた燐鉍採掘産業の歴史を知る上で重要である。

官 報 告 示：平成 29 年 2 月 9 日付け文部科学省告示第 7 号

### ②北大東島燐鉍山遺跡



燐鉍石貯蔵庫 遠景



燐鉍石貯蔵庫 近景

#### (4) 記念物の追加指定

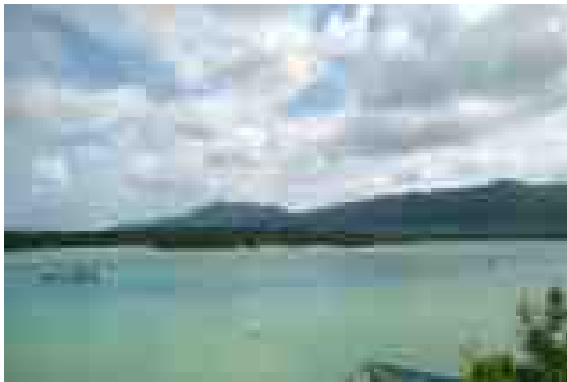
##### ① <sup>かびらわんおよ</sup>川平湾及び<sup>おもとだけ</sup>於茂登岳

種 別：名勝  
所 在 地：沖縄県石垣市字崎枝  
所 有 者：石垣市  
指 定 基 準：名勝の部 八 砂丘、砂嘴、海浜、島嶼  
十 山岳、丘陵、高原、平原、河川  
十一 展望地点

指定をする理由： 川平湾は琉球王府への貢納船の風待ちの場所であったほか、沖縄県最高峰の於茂登岳には八重山諸島の創生神話が伝わる。隆起珊瑚礁の<sup>とうしょ</sup>島嶼から成る海浜と亜熱帯樹林が覆う山岳が一体を成す美しい風致景観。条件の整った山麓の部分を追加指定する。

官 報 告 示：平成 28 年 10 月 3 日付け文部科学省告示第 147 号

##### 名勝 川平湾及び於茂登岳



川平小島と於茂登岳



於茂登岳南斜面

### 8. 新たに国の記録作成になった文化財

#### (1) 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財の選択

##### ① 琉球古典箏曲

名 称：琉球古典箏曲  
関係技芸団体：(1) 琉球箏曲興陽会  
(2) 琉球箏曲保存会  
(3) 琉球伝統箏曲琉絃会

選択をする理由： 沖縄における箏曲の歴史は、18 世紀初頭、<sup>いなみねせいじゅん</sup>稲嶺盛淳が薩摩で習い覚えた十三弦の箏の曲を伝えたことに始まるとされる。1808 年の御冠船踊で琴弾役を務めた仲本興嘉も薩摩で箏曲の教授を得ており、これら数次にわたり渡来したと考えられる曲には、箏の独奏曲 10 曲、すなわち器楽曲の「<sup>たきおとしすががき</sup>滝落管攪」「<sup>じすががき</sup>地管攪」

「<sup>えどすががき</sup>江戸管攪」「<sup>ひょうしすががき</sup>拍子管攪」「<sup>さんやすががき</sup>佐武也管攪」「<sup>ろくだんすががき</sup>六段管攪」「<sup>ななだんすががき</sup>七段管攪」、声楽曲



の「船頭節」「対馬丸」「源氏節」があり、これらは我が国の箏曲の歴史を知る上で重要な伝承となっている。

一方、19世紀初めには三線との合奏が行われ始め、箏は三線と流歌による古典音楽の伴奏楽器として定着した。戦後は、演奏者人口が格段に増えたが、古典音楽や組踊、琉球舞踊、の伴奏楽器として演奏されることが専らであり、独奏曲の演奏機会は減少している。

以上のように、琉球古典箏曲は、我が国の芸能の変遷の過程を知る上で貴重なものであるが、その技芸の伝承状況の危うさから、記録作成等の措置を講ずべき無形文化財の選択をしようとするものである。

## 9. 新たに国の登録になった文化財

### (1) 建造物の登録

#### ①旧名城家住宅主屋、旧名城家住宅石垣

種 別：登録有形文化財（建造物）

所在の場所：島尻郡伊是名村字勢理客 1547 番地

構造・形式：木造平屋建、瓦葺 石造

及び大きさ 建築面積：119 m<sup>2</sup> 石垣延長：116 m<sup>2</sup>

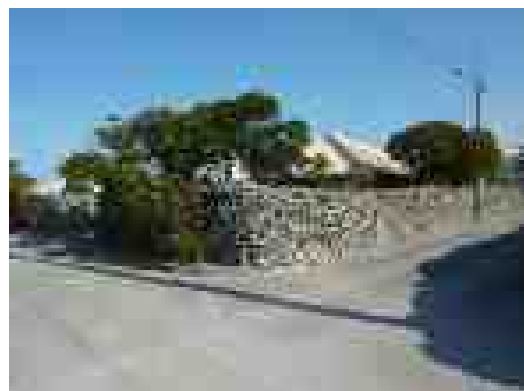
建築年代：明治 38 年

登録基準：主屋 2「造形の規範となっているもの」

石垣 3「再現することが容易でないもの」

説 明： 東から一番・二番・三番座、その背面に裏座がある。通常、二番座は一つの部屋として利用されるが、この住宅は二間に仕切られ村内民家にあまりない特徴がある。また、勢理客集落はサンゴの石垣が残っている地域であり、今回登録された旧名城家住宅の石垣は、伊是名の伝統的な集落景観を残した存在となる。

官 報 告 示：平成 28 年 11 月 29 日付け文部科学省告示第 174 号



「写真提供：伊是名村教育委員会」

## (2) 記念物（名勝地関係）の登録

### ①旧仲宗根氏庭園

種 別：登録記念物（名勝地関係）

所 在 の 場 所：宮古島市平良市字仲宗根

構 成 要 素：①池、②築山、③滝組、④石組、⑤石段、⑥石橋1、⑦石橋2、⑧フクギ

所有者・占有者：宮古島市長

指 定 基 準：名勝地関係の一（造園文化の発展に寄与しているもの）

指定をする理由： 沖縄県宮古島の旧士族の邸宅に昭和初期に造られた庭園で、宮古島北西部の平良地区に位置する。仲宗根氏は多くの宮古島の頭職を輩出した家柄で、地元で「忠導氏仲宗根家」と呼ばれる。

旧仲宗根氏庭園の敷地入口に建つ門には琉球石灰岩の巨石が用いられ、門から続く通路を右手方向へ進むと庭園へ通じる。庭園は主屋の東側に位置していたが、主屋は近年の台風により倒壊し、現在は存在しない。作庭は、昭和4（1929）年に主屋が改築された際に、首里の庭師糸洲朝昌が行った。

庭園は元々主屋からの眺めを主とする池庭で、主屋から見て左右に園池が伸びる。園池は複雑な形をしており、5つの岩島を配している。園池の左奥方向には滝石組が設けられ、また左右の端には石の反橋が架かる。左の反橋からは、滝石組の背後の築山の上部へ向かって石段が続く。

以上のように、旧仲宗根氏庭園は、宮古島に残る唯一の旧士族の庭園であり、沖縄県の造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。

官 報 告 示：平成28年10月3日付け文部科学省告示第148号

旧仲宗根氏庭園



旧仲宗根氏庭園（園地）

## 10. 指定文化財管理

### (1) 国指定文化財管理事業

#### ① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

#### ② 事業内容

##### 1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

##### 2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

##### 3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

#### ③ 事業主体

沖縄県

#### ④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成28年度実績額	総事業費	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	21,929	(昭55～平28)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	428	19,223	(昭54～平28)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	2,224	(平5～平28)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	3,652	(平15～平28)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	1,878	(平17～平28)
	合 計			1,176	48,906	

## 11. 文化財愛護事業

### (1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年44点(15校)、小学校3・4学年77点(26校)、小学校5・6学年88点(22校)、中学校90点(20校)、高等学校35点(9校)、合計334点(64校)の応募があった。

審査会:平成28年10月13日(木)14時～17時30分  
 沖縄県立武道館第一錬成道場

審査員:長内 聡 (真和志高校 教諭) 前田 克也 (大平特別支援学校 教諭)  
 真鶴 瞳 (大平特別支援学校 教諭) 比嘉 あかね (小禄高校 教諭)  
 山根 亮人 (沖縄盲学校 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月1日(火)15時40分より、県庁舎4階講堂で行い、10月31日(月)～11月4日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	安武 来瞳 (カトリック小)	石嶺 真麗乙 (港川小)	大川 千寿 (普天間小)
優秀賞	石川 真歩 (宮里小) 砂辺 琉奈 (久松小)	ラムティモシーキャメロン (城西小) 東 宏全 (南小)	石嶺 真玖史 (カトリック小) 奥平 凜々愛(平良第一小)
佳作	宮城 多桜 (カトリック小) 森川 開斗 (カトリック小) 具志 奈々香 (兼原小) 松原 叶歩 (小浜小)	山上 雅生 (カトリック小) 上原 和馬 (南風原小) 松井 志生 (城南小) 南 龍之輔 (平真小)	小橋川 さくら(カトリック小) 知念 凜香 (カトリック小) 喜納 愛子 (城西小) 南 慎之輔 (平真小)
入選	8名	8名	8名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	久手堅 彰哉 (南風原中)	秋吉 優花 (美里高)
優秀賞	志良堂 由莉奈 (港川中) 小禄 美由紀 (港川中)	玉城 明依 (名護高) 生盛 愛彩 (開邦高)
佳作	宮里 なすか (屋部中) 平良 珠朱 (伊波中) 識名 紫月 (高江洲中) 上原 美杏 (安岡中)	有嶋 愛恵 (浦添工業高) 嘉手苺 未和 (浦添工業高) 永山 辰希 (浦添工業高)
入選	8名	9名

### (2)平成28年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成27年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生1・2年の部 最優秀作品「沖縄のエイサー」[(崎山 実鈴さん兼原小学校2年(受賞当時))、並びに、小学生3・4年の部 最優秀作品「中村家」[與那覇 星さん 北中城小学校3年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

## 12. 世界遺産・首里城跡周辺文化財整備事業

### (1) 現状及び課題

首里城城郭等の復元整備は、県の本土復帰記念事業並びに戦災文化財の復元整備事業として、沖縄開発庁（現内閣府）の補助を受けて行われたが、事業完了とともに同補助制度は廃止された。その後は県教育庁文化財課が管理を行っている。本来、文化財的な価値はきわめて高いが、戦災からの復元された文化財であるため国指定を受けることができず、扁額などき損が著しい状態にある。

### (2) 事業目的

継世門は、首里城の東側に位置する外郭の第三門で裏門にあたり、往時は、主に日常の通用として使われていた。現在、掲げられている扁額は、経年劣化が著しく進んでいるため、今後修復が必要である。しかし、継世門はスペア用扁額が無いため、既存の扁額の修復作業の際には、櫓に取り付けられた扁額を取り替えることができない状況である。首里城は世界遺産であり、県内でも有数の観光資源であることから、常に往時の姿を維持することが必要であり、修復等の理由で一時的に櫓から扁額を取り外したままにすることは難しい。よって、スペア用扁額の新調を行うことによって、既存の扁額取り外しの際、掲示することが出来る体制を構築する必要がある。

### (3) 事業計画

- ①「継世門」の扁額（スペア用）を平成28年度中に新規製作する。
- ②作成した扁額は、適切な場所で保管する。

### (4) 本事業の修復における特徴

- ①以前の扁額は「イヌマキ」（俗称：チャーギ）を使用しているが、今回取り付けた扁額は「ヒノキ」を使用し、耐性強化を図った。
- ②新規扁額製作では長期の掲示に耐えられる方法を調査研究（漆の種類や彩色方法の研究）し、劣化防止用の塗装を実施。
- ③扁額の写真をはじめ資料を再度調査し、世界遺産としてふさわしい、より復元精度の高い扁額を作成した。

### (5) 平成28年度実績額 5,211千円

### (6) 事業実施結果

本事業では、継世門扁額のスペア用1基を作成した。本スペア用扁額は、直射日光や風雨などへの扁額の耐用性の向上を図っており、使用時には、往時の景観を長期にわたり再現できると考えられる。

また、現在掲示されている扁額が、自然災害等の要因によるき損が生じた場合でも、即座に対応し、常に往時の姿を維持することが出来るようになった。

## 13. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額	: 12,640千円（国10,112千円、県2,528千円）
事業種別	: 沖縄振興特別推進交付金
事業主体	: 沖縄県
事業期間	: 平成28年4月1日～平成29年3月31日
事業目的	: 沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍、6冊を刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。
事業概要	: 沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。初年度は調査・撮影の前段階として、図鑑研究、文化財データの整理、行事の日程等の聞き取り、班会議で編集方針の協議を行った。
実施体制	: 文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集、翻訳については業務委託を行う。



重要無形民俗文化財（宮古島平良地区島尻のパーントゥ）